# 日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム

# V7.3 インストレーション・ガイド

AA-PQE5H-TE

2001 年 7 月

本書は，日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 をインストールする方法について説明します。日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 をインストールする前に，必ず本書をお読みください。

改訂 / 更新情報: 新規マニュアルです。
ソフトウェア・バージョン: 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3

コンパックコンピュータ株式会社

© 2001 Compaq Computer Corporation

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており，本書中の解説および図，表はコンパックの文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

コンパックは，コンパックまたはコンパックの指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

以下は，米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

COMPAQ， VAX， VMS および Compaq ロゴ。

Printed in Singapore.

本書は CD-ROM でも提供しています。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

# 目次

まえがき . . . . . vii

1 インストール前の準備

1.1 ディストリビューション・キット . . . . . 1–1

1.2 日本語 Compaq OpenVMS VAX の構成 . . . . . 1–1
1.2.1 必須セーブセット . . . . . 1–2
1.2.2 ユーティリティ・セーブセット . . . . . 1–3
1.2.3 オプショナル・セーブセット . . . . . 1–4
1.2.4 日本語 Compaq DECwindows サポート セーブセット . . . . . 1–4

1.3 OpenVMS ライセンス・マネジメント・ファシリティ . . . . . 1–4

1.4 必要なハードウェアの最小構成 . . . . . 1–5

1.5 必要なソフトウェア . . . . . 1–6
1.5.1 標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 . . . . . 1–6
1.5.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル . . . . . 1–6

1.6 インストレーションに必要な時間 . . . . . 1–8

1.7 インストレーションに必要な特権 . . . . . 1–8

1.8 必要なディスク容量 . . . . . 1–8

1.9 必要なシステム・パラメータ . . . . . 1–9

1.10 システム・ディスクのバックアップ . . . . . 1–12

1.11 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 より前のバージョンからのアップグレード . . . . . 1–13

2 日本語インストレーション
2.1 インストレーション . . . . . 2–1
2.2 日本語 Compaq OpenVMS VAX インストレーションの手順 . . . . . 2–2

3 インストレーションの検証
3.1 日本語 Compaq OpenVMS インストレーション検証プロシージャ . . . . . 3–1

4 インストレーション後の作業
4.1 イニシャル・インストール後の作業 . . . . . 4–1
4.1.1 日本語 Compaq OpenVMS スタートアップ . . . . . 4–1
4.1.2 漢字ターミナルの設定 . . . . . 4–3
4.2 アップグレード後の作業 . . . . . 4–3
4.3 問題点の通知 . . . . . 4–4

5 エラー・リカバリ
5.1 インストレーション・エラー . . . . . 5–1
5.2 検証エラー . . . . . 5–4

6 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティ
6.1 テーラリング・ユーティリティの使用方法 . . . . . 6–1
6.1.1 日本語 Compaq OpenVMS テーラ・クラス . . . . . 6–5

A 日本語 Compaq OpenVMS VAX バージョン 7.3 のインストレーション例

B XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストレーション例

C インストレーション検証プロシージャ (IVP) の出力例

D ファイル一覧

D.1 JSY$DICTIONARY . . . . . D–1
D.2 JSY$EXAMPLES . . . . . D–1
D.3 JSY$HELP . . . . . D–2
D.4 JSY$LIBRARY . . . . . D–2
D.5 JSY$SYSTEM . . . . . D–3
D.6 JSY$TEST . . . . . D–5
D.7 SYS$COMMON:[SYS$KEYMAP.DECW.SYSTEM] . . . . . D–5
D.8 SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI] . . . . . D–6
D.9 SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI] . . . . . D–6
D.10 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW] . . . . . D–6
D.11 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.XTPU] . . . . . D–6
D.12 SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP] . . . . . D–7
D.13 SYS$COMMON:[SYSMAINT.DASC] . . . . . D–7
D.14 SYS$COMMON:[SYSMSG.JA_JP ] . . . . . D–7
D.15 SYS$HELP . . . . . D–7
D.16 SYS$LOADABLE_IMAGES . . . . . D–8
D.17 SYS$MESSAGE . . . . . D–8
D.18 SYS$SHARE . . . . . D–9
D.19 SYS$STARTUP . . . . . D–12
D.20 SYS$SYSTEM . . . . . D–12
D.21 SYS$TEST . . . . . D–13
D.22 SYS$UPDATE . . . . . D–13

E 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティの出力例

E.1 テーラ・オフの出力例 . . . . . E–1

E.2 テーラ・オンの出力例 . . . . . E–9

索引

# まえがき

## 本書の目的

本書は，日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 をインストールする方法について解説します。標準版 Compaq OpenVMS のインストレーションについては関連資料を参照してください。

## 対象読者

本書は，システム管理者を対象としています。日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 をインストールする前に，必ず本書をお読みください。

## 本書の構成

本書は 6 つの章と 5 つの付録で構成されています。

| | |
|---|---|
| 第 1 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 インストレーション・キットの構成，インストレーションに必要な資源など，日本語 Compaq OpenVMS VAX をインストールする前の準備について説明します。 |
| 第 2 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX をインストールする手順について説明します。 |
| 第 3 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX が正しくインストールされたかどうかを検証する方法（IVP）について説明します。 |
| 第 4 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーション後に行う作業について説明します。 |
| 第 5 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーションで発生する可能性のあるエラーと，それに対する処置について説明します。 |

| | |
|---|---|
| 第 6 章 | 日本語 Compaq OpenVMS VAX のテーラリング・ユーティリティについて説明します。 |
| 付録 A | 典型的な日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーション例について説明します。 |
| 付録 B | XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストレーション例について説明します。 |
| 付録 C | 日本語 Compaq OpenVMS VAX インストレーション検証プロシージャの出力例を示します。 |
| 付録 D | 日本語 Compaq OpenVMS VAX が提供するファイル一覧を示します。 |
| 付録 E | 日本語 Compaq OpenVMS VAX のテーラリング・ユーティリティの出力例を示します。 |

## 関連資料

- 『日本語 Compaq OpenVMS V7.3 リリース・ノート』
- 『Compaq OpenVMS V7.3 リリース・ノート[翻訳版]』
- 『OpenVMS VAX Version 7.3 Upgrade and Installation Manual』
- 『OpenVMS License Management Utility Manual』
- 『Compaq OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『Compaq OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

## 本書で使用する表記法

本書では，日本語 Compaq OpenVMS VAX は日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システムを指します。

また，日本語 Compaq DECwindows および日本語 Compaq DECwindows Motif はすべて日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS ソフトウェアを意味します。

また，本書では次の表記法も使用しています。

| 表記法 | 意味 |
|---|---|
| Ctrl/x | Ctrl/xという表記は， Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。 |
| PF1 x | PF1 xという表記は， PF1 に定義されたキーを押してから，別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。 |
| Return | 例の中で，キー名が四角で囲まれている場合には，キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では，キー名は四角で囲まれていません。<br>HTML 形式のドキュメントでは，キー名は四角ではなく，括弧で囲まれています。 |
| . . . | 例の中の水平方向の反復記号は，次のいずれかを示します。<br>• 文中のオプションの引数が省略されている。<br>• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。<br>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。 |
| .<br>.<br>. | 垂直方向の反復記号は，コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは，その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。 |
| ( ) | コマンドの形式の説明において，括弧は，複数のオプションを選択した場合に，選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。 |
| [ ] | コマンドの形式の説明において，大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても，いずれか 1 つを選択しても，あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし， OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や，割り当て文の部分文字列指定の構文の中では，大括弧に囲まれた要素は省略できません。 |
| [\|] | コマンド形式の説明では，括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか，または何も選択しないことを意味します。 |
| { } | コマンドの形式の説明において，中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。 |
| 太字 | 太字のテキストは，新しい用語，引数，属性，条件を示しています。 |
| *italic text* | イタリック体のテキストは，重要な情報を示します。また，システム・メッセージ (たとえば内部エラー*number*)，コマンド・ライン (たとえば /PRODUCER=*name*)，コマンド・パラメータ (たとえば*device-name*) などの変数を示す場合にも使用されます。 |

| 表記法 | 意味 |
|---|---|
| UPPERCASE TEXT | 英大文字のテキストは，コマンド，ルーチン名，ファイル名，ファイル保護コード名，システム特権の短縮形を示します。 |
| Monospace type | モノスペース・タイプの文字は，コード例および会話型の画面表示を示します。<br>C プログラミング言語では，テキスト中のモノスペース・タイプの文字は，キーワード，別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前，構文の要約，または例に示される変数または識別子への参照などを示します。 |
| – | コマンド形式の記述の最後，コマンド・ライン，コード・ラインにおいて，ハイフンは，要求に対する引数がその後の行に続くことを示します。 |
| 数字 | 特に明記しない限り，本文中の数字はすべて 10 進数です。 10 進数以外 (2 進数， 8 進数， 16 進数) は，その旨を明記してあります。 |

# 1

# インストール前の準備

この章では，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーションをする前の準備について説明します。

## 1.1 ディストリビューション・キット

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 オペレーティング・システムで提供されるキットはイニシャル・キットであり，標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 を日本語化するためのモジュールのみを含んでいます。次のユーザは，このキットを使用してください。

- 新規に日本語 Compaq OpenVMS VAX を使用するユーザ
- 日本語 Compaq OpenVMS VAX V6.1， V6.2， V7.0， V7.1 または V7.2 をアップグレードし，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 オペレーティング・システムにするユーザ

## 1.2 日本語 Compaq OpenVMS VAX の構成

日本語 Compaq OpenVMS VAX は，標準版 Compaq OpenVMS と同様に，一部のシステムのみをインストールして使用できるように，以下の 4 個のセーブセットから構成されています。

- 必須セーブセット
- ユーティリティ・セーブセット
- オプショナル・セーブセット
- 日本語 Compaq DECwindows サポートセーブセット

個々のセーブセットはさらに，数個の機能あるいはユーティリティからなるテーラリング・クラスで構成されており，ユーザはテーラリングするかどうかを選択できます。

ただし，通常の場合，すべてのセーブセットは無条件にインストールされます。システム・ディスクに必要なディスク・スペースがない場合，または明示的にセーブセットを指定した場合に，個々のセーブセットを選択し，インストールします。しかし，その場合にも必須セーブセットは必ず選択されます。もし，必須セーブセット以外のファイルで不要なものがある場合は，インストール後にテーラリング・ユーティリティを使用してファイルを削除 ( テーラ・オフ ) してください。テーラリング・ユーティリティの使用法については，本書の第 6 章を参照してください。

それぞれのセーブセットをインストールすることで使用できる機能を，以下に示します。個々の機能の詳細は，各ユーティリティの利用者の手引きを参照してください。

### 1.2.1 必須セーブセット

1. 日本語スタートアップ・プロシージャ

   日本語 Compaq OpenVMS VAX の初期設定を行うプロシージャ群です。

2. 日本語ライブラリ

   日本語文字列操作ルーチンや日本語汎用ライブラリ，かな漢字変換ライブラリ，日本語画面制御ライブラリ (SMG)，ユーザ・キー定義ライブラリ (IMLIB)，日本語 COBOL ランタイム・ライブラリなどのプログラム開発用の各種ライブラリです。

3. KANJIGEN(漢字端末設定ユーティリティ)

   漢字ビデオ・ターミナルや漢字プリンタなどの属性の表示および設定を行うユーティリティです。

4. DEC XTPU

   DECTPU に日本語処理機能を追加したもので，日本語 EVE エディタが標準で用意されています。

5. テーラリング・ユーティリティ

   日本語 Compaq OpenVMS VAX のファイルの部分的な追加，削除を行います。

### 1.2.2 ユーティリティ・セーブセット

1. 日本語ユーティリティ

   日本語メール・ユーティリティなどの，以下のユーティリティが含まれます。

| | |
|---|---|
| KCODE | 漢字コード変換 |
| KCONVERT | DEC 漢字コード変換 |
| KINQUIRE | ローマ字・かな漢字変換型 INQUIRE コマンド |
| JDICEDIT | 辞書編集ユーティリティ |
| JMAIL | 日本語メール・ユーティリティ |
| SORT，MERGE | 日本語ソート・日本語マージ |

2. フォント管理ユーティリティ

   ユーザ定義文字の管理及びユーザ定義文字のプリンタでの印字などをサポートするユーティリティが含まれています。

| | |
|---|---|
| Kanji font database | 漢字フォント・データ |
| Kanji utility Help | 漢字ユーティリティの HELP |
| Kanji print symbiont | 漢字プリンタ用プリント・シンビオント |
| Kanji terminal driver | 漢字端末用ドライバ |
| CMGR | ユーザ定義文字管理ユーティリティ |

3. FIP(日本語入力プロセス)

   日本語 Compaq OpenVMS VAX 上の端末 (VT284，VT382 など) 上で動いているアプリケーションに，日本語を入力するためのフロントエンド・システムです。

4. プログラミング・サポート

   日本語ライブラリを使用したプログラム用のインクルード・ファイルなどが含まれています。

5. 日本語システムのヘルプ

6. 翻訳ヘルプ/メッセージ

### 1.2.3 オプショナル・セーブセット

日本語 Compaq OpenVMS VAX の付加的機能を提供します。

| | |
|---|---|
| IVP | インストレーションの検証プロシージャ |
| サンプル・プログラム | 日本語ユーティリティ，DEC XTPU などのプログラム例 |
| 古いファイル | JTPU の共有イメージなど |

### 1.2.4 日本語 Compaq DECwindows サポート セーブセット

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS が使用するフォント・ファイル，キーマップ・ファイルなどを提供します。標準版 Compaq OpenVMS で DECwindows ファイルをインストールしている場合にのみ必要となります。

| | |
|---|---|
| キーマップ・ファイル | 日本語キーボードに対応したキーマップ・ファイル |
| フォント別名ファイル | 指定されたファイルがない場合に使用する別名フォントを記述するファイルの例 |
| 75dpi フォント | 75dpi の日本語フォント |
| 100dpi フォント | 100dpi の日本語フォント |

## 1.3 OpenVMS ライセンス・マネジメント・ファシリティ

新規に日本語 Compaq OpenVMS VAX を使用するユーザは，日本語 Compaq OpenVMS VAX をインストールする際に，必ずソフトウェア・ライセンスを登録しなければなりません。ライセンスを登録するための情報は，日本語 Compaq OpenVMS VAX と一緒に出荷される，プロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) に含まれています。 PAK はライセンス情報が記載されている用紙です。

日本語 Compaq OpenVMS VAX のライセンスは，インストレーションの前でも後でも登録できますが，インストレーションの前に行うことをお勧めします。日本語 Compaq OpenVMS VAX ではインストレーション中にライセンスを登録し，キーをロードしたかどうかを確認するようになっています。ライセンスの登録とキーのロードを行っていない場合は，インストレーションを行うことはできますが，日本

語 Compaq OpenVMS VAX を使用したり，IVP を実行したりすることはできません。ライセンスを登録し，キーをロードして初めて，日本語 Compaq OpenVMS VAX を使用したり，IVP を実行したりすることができます。

ライセンスを登録する方法には次の 2 つがあります。

1. コマンド・プロシージャ SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM を使用する。
2. DCL コマンド LICENSE REGISTER を使用する。

詳細は『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

## 1.4 必要なハードウェアの最小構成

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 は，VAX アーキテクチャの各機種で動作します (一部の機種を除く)。また，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 が動作するためには以下の環境が必要です。

- ディスク装置

  システムをインストールするのに充分な容量を持った，RD，RA，RF，RZ シリーズのディスク装置。

- テープ・ドライブまたは CD-ROM ドライブ

  キットの提供媒体に対応するテープ・ドライブまたは CD-ROM ドライブ。

- メモリ

  最小 14MB 以上のメインメモリ

詳細は『日本語 Compaq OpenVMS オペレーティング・システム V7.3 ソフトウェア仕様書』(SPD) を参照してください。

## 1.5 必要なソフトウェア

### 1.5.1 標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールするためには，標準版 Compaq OpenVMS VAX が V7.3 であることが必要です。インストレーションの方法については『OpenVMS VAX Version 7.3 Upgrade and Installation Manual』を参照してください。

### 1.5.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル

標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストール後， XPG4 ロケール・データ・ファイル・キットのインストレーションが必要です。ロケール・データ・ファイルは， V6.2 から標準版 OpenVMS VAX で提供されるようになった， XPG4 ランタイム・ライブラリおよびユーテリティで使用されるもので，独立したキットで提供されています。

キット名は VMSI18N073 です。このキットは CD-ROM の場合は標準版 Compaq OpenVMS VAX & Alpha V7.3 Associated Layered Products CD-ROM および日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 CD-ROM の両方に含まれています。

- 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 CD-ROM からインストールする場合の手順は次のとおりです。

  1. システム・マネージャのアカウントにログインして，次のコマンドで日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 CD-ROM をマウントします。

     ```
     $ MOUNT/OVER=ID ddcu:
     ```

     ここで ddcu: は， CD-ROM ドライブの装置名を指定します。

  2. マウント後，次のコマンドを入力して VMSINSTAL を起動します。

     ```
     $ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL VMSI18N073 ddcu:[VMSI18N_VAX073.KIT]
     ```

- TK50 からインストールする場合は，テープ・ドライブ装置に日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 キットの 2 巻目をロードして，次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL VMSI18N073 ddcu:
```

  ここで ddcu: は，テープ・ドライブの装置名を指定します。

- 磁気テープからインストールする場合は，テープ・ドライブ装置に日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 キットの 3 巻目をロードして，次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL VMSI18N073 ddcu:
```

  ここで ddcu: は，テープ・ドライブの装置名を指定します。

  磁気テープ・メディアでは，キットのセーブ・セット C は提供されません。したがって，英語と日本語以外のロケール・データ・ファイルは提供されません。

VMSINSTAL を起動すると， VMSINSTAL の初期メッセージが表示された後，各国語サポートに関する 4 つの質問が表示されます。このうち，日本語サポートについて "YES"と入力してください。日本語サポート以外のインストレーションは必須ではありませんので， "NO"を入力します。実際の質問は次のとおりです。

```
* Do you want European and US support [YES]?
* Do you want Chinese support [YES]?
* Do you want Japanese support [YES]?
* Do you want Korean support [YES]?
* Do you want Thai support [YES]?
* Do you want the Unicode converters [YES]?
```

日本語サポートのみを選択した場合，インストール時に必要なディスク容量は約 10,000 ブロックです。

**注意**

日本語サポート以外のインストールは，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールするための必須インストールではありません。また，US サポートは，標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーショ

ンにより提供されています。もし，全ての質問に対して "YES"と答えた場合，システム・ディスク上で約 80,000 ブロックの容量を占めますのでご注意ください。

---

インストレーションの例を付録 B に示しますので，参照してください。

## 1.6 インストレーションに必要な時間

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 すべてをインストールするためには ( VAXstation 4000-60 で TK50 を使用した場合)，約 40 分かかります。

## 1.7 インストレーションに必要な特権

インストレーションには，次の特権が必要です。

- VMSINSTAL の実行のために， CMKRNL， WORLD， SYSPRV の特権
- その他日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 の JSY$STARTUP.COM の実行のために， PRMGBL， SYSGBL， DETACH， PHY_IO， SYSNAM の特権

なお， VMSINSTAL はインストレーション開始のときに BYPASS 特権をはずしますので注意してください。

## 1.8 必要なディスク容量

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールするために必要なディスク容量は，次の表のとおりです。

必要とするディスク容量のサイズは，インストールするモジュールを選択することによって，次の表より小さくなります。

| 必要なシステム・ディスクのサイズ | | |
|---|---|---|
| | インストール時 | インストール後 |
| 必須セーブセットのみ | 約 18,000 ブロック | 約 16,000 ブロック |
| 必須 + ユーティリティセーブセット | 約 44,000 ブロック | 約 36,000 ブロック |
| 必須 + ユーティリティ + オプショナルセーブセット | 約 50,000 ブロック | 約 42,000 ブロック |
| 必須 + ユーティリティ + オプショナル +DECwindows サポート | 約 77,000 ブロック | 約 69,000 ブロック |

現在の空きブロック数は，次のようにしてみることができます。

```
$ SHOW DEVICE device-name
```

値が十分でないときは，不必要なファイルを消すなどの処置をとってください。日本語 Compaq OpenVMS VAX ファイルの削除については，本書の第 6 章，ならびに付録 E を参照してください。

## 1.9 必要なシステム・パラメータ

日本語システムのユーティリティは，インストレーション後に次表の値のグローバル・ページ，グローバル・セクションを必要とします。

| ユーティリティとイメージ | グローバル・ページ | グローバル・セクション |
|---|---|---|
| CMGR | | |
| CMGRSHR.EXE | 114 | 3 |
| CMGRDISPSHR.EXE | 88 | 3 |
| JMAIL | | |
| JMAIL.EXE | 224 | 3 |
| JMAILSHR.EXE | 118 | 1 |
| JMAILSHRP.EXE | 122 | 3 |
| JMAILMSG.EXE | 26 | 1 |

| ユーティリティとイメージ | グローバル・ページ | グローバル・セクション |
|---|---|---|
| 日本語共有イメージ | | |
| JSYSHR.EXE | 340 | 5 |
| JSYSHRP.EXE | 16 | 4 |
| 日本語画面管理ライブラリ | | |
| JSY$SMGSHR.EXE | 396 | 2 |
| JTPU 共有イメージ | | |
| JTPUMSG.EXE | 120 | 1 |
| JTPUSHR.EXE | 536 | 2 |
| JTPU$CCTSHR.EXE | 132 | 2 |
| JTPU$DECWSHR.EXE | 198 | 2 |
| KANJIGEN | | |
| KANJIGEN.EXE | 46 | 3 |
| KINQUIRE | | |
| KINQ.EXE | 8 | 1 |
| SORT, MERGE | | |
| SORTDTYPE.EXE | 28 | 2 |
| SORJPNDICT.EXE | 84 | 2 |
| IMLIB | | |
| IM$SHR.EXE | 82 | 3 |
| IM$MESSAGE.EXE | 8 | 1 |
| TYPE | | |
| TYPE.EXE | 20 | 1 |
| JSY$UTIL$SHARE.EXE | 4 | 1 |
| CLIUTLMSG.EXE | 212 | 1 |
| FIP | | |
| FIP.EXE | 174 | 2 |
| FIP$CONTROL.EXE | 6 | 1 |
| FIPSHR.EXE | 60 | 4 |
| IM$HMCISVECSHR.EXE | 10 | 2 |
| IM$ARKSHR.EXE | 20 | 3 |
| IM$HMJSYVECSHR.EXE | 28 | 2 |

| ユーティリティとイメージ | グローバル・ページ | グローバル・セクション |
|---|---|---|
| IM$CIS_TRANSPORT_DECNET.EXE | 4 | 1 |
| IM$CIS_TRANSPORT_LOCAL.EXE | 4 | 1 |
| IM$CICSHR.EXE | 4 | 1 |
| IM$HMSHR.EXE | 136 | 3 |
| IM$KKCSHR.EXE | 20 | 3 |
| FIPMSG.EXE | 18 | 1 |
| XTPU | | |
| JEVE$SECTION_V3.XTPU$SECTION | 2,672 | 1 |
| XTPU.EXE | 4 | 1 |
| XTPU$CCTSHR.EXE | 138 | 1 |
| XTPU$CSSHR_JA_JP.EXE | 156 | 1 |
| XTPU$MOTIFSHR.EXE | 226 | 1 |
| XTPUSHR.EXE | 760 | 1 |
| XTPUMSG.EXE | 148 | 1 |
| 合計 | 7,510 | 78 |

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーション・プロシージャは，最低限必要なグローバル・ページ，グローバル・セクションの空きをそれぞれ 8,500 ページ， 79 セクションとしています。現在のシステムの設定がこの値に満たない場合，またシステムの DCLTABLES.EXE が 1,000 ページ以上あるような場合，インストレーションは失敗します。

現在のシステムで使用可能なグローバル・ページとグローバル・セクションの空きは，次のようにして調べることができます。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLPAGES")
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
```

インストレーション中には， DCLTABLES.EXE などの再インストールが行なわれるために，上の表の合計値よりさらに大きなグローバル・ページ，グローバル・セクション空きが必要となります。

グローバル・ページ，グローバル・セクションの値は，次のようにして変更することができます。

1. SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に追加

   次の行を SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に加えてください。

   ```
   GBLPAGES = <グローバル・ページの値>
   GBLSECTIONS = <グローバル・セクションの値>
   ```

   あるいは次の行でもかまいません。

   ```
   ADD_GBLPAGES = <追加するグローバル・ページの値>
   ADD_GBLSECTIONS = <追加するグローバル・セクションの値>
   ```

2. AUTOGEN をかける

   次のように AUTOGEN を実行してください。

   ```
   $ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT NOFEEDBACK
   ```

   システムがシャット・ダウンされリブートされます。グローバル・ページとグローバル・セクションの数は，SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に書かれた数に変更になります。

## 1.10 システム・ディスクのバックアップ

インストレーションの最初に，システム・ディスクをバックアップしたかどうかを尋ねてきます。インストレーション中に問題が発生したときのために，システム・ディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。

バックアップ実行の詳細については，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

## 1.11 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 より前のバージョンからのアップグレード

日本語 Compaq OpenVMS VAX V6.1， V6.2， V7.0， V7.1 または V7.2 から日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 にアップグレードする場合は，必ず以下の手順で行うようにしてください。

1. 日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョンアップ

   **日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していない場合**

   ワークステーションで日本語 Compaq DECwindows Motif を実行していない場合は，この作業は必要ありませんので 3 の作業へ進んでください。

   日本語 Compaq OpenVMS V7.3 でサポートされる日本語 Compaq DECwindows Motif のバージョンは V1.2-4 以上です。 V1.2-4 より前のバージョンをお使いの場合は，あらかじめ V1.2-4 以上へのアップグレードを行ってください。

   なお日本語 Compaq OpenVMS 7.3 の CD-ROM には日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 が含まれていますので， V1.2-6 へのアップグレードをお勧めします。

2. 日本語 Compaq DECwindows Motif 言語設定の変更

   ワークステーションで日本語 Compaq DECwindows Motif を実行しており，SYSTEM アカウントのセッション・マネージャの言語設定が「日本語」になっている場合は「US English」に変更してください。

3. SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の編集

   SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM をエディタで編集して，日本語 Compaq OpenVMS 関係の初期化処理を行っている箇所 (たとえば JSY$STARTUP.COM， KANJIUP.COM を呼び出している部分や漢字プリンタの装置 ddcu を割り当てている部分 ) を，次のようにコメント・アウトしてください。

```
$! @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP
$! ASSIGN ddcu: JSY$PRINT
$! @JSY$SYSTEM:KANJIUP
```

4. システム設定の変更

   日本語 Compaq OpenVMS VAX を標準版 Compaq OpenVMS VAX にもどすためには，SYSGEN パラメータの TTY_CLASS を TT にするなどいくつかの設定の変更が必要となります。この作業を行うために以下のコマンド・プロシージャを実行してください。

   ```
   $ @JSY$SYSTEM:JSY$RESETPARAMS.COM
   ```

   AUTOGEN が実行されシステムは自動的にシャット・ダウンされます。これで標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 へのアップグレードが可能な状態になっています。

5. 標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 へのアップグレード

   標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のキットを用いて，標準版 Compaq OpenVMS VAX のアップグレードを行ってください。アップグレードの方法については『Compaq OpenVMS VAX Version 7.3 Upgrade and Installation Manual』を参照してください。

6. XPG4 ロケール・データ・ファイル・キットのインストール

   ロケール・データ・ファイル・キット VMSI18N073 のインストレーションを行ってください。インストレーションの手順は第 1.5.2 項を参照してください。

7. 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストール

   日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーションを行ってください。以後の作業については，第 2 章 "日本語インストレーション "およびそれ以降の章を参照してください。

# 2
# 日本語インストレーション

この章では，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーションの手順について説明します。

## 2.1 インストレーション

日本語 Compaq OpenVMS VAX は，標準版 Compaq OpenVMS の VMSINSTAL プロシージャでインストールされます。

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールする前に，『Compaq OpenVMS システム管理者マニュアル』の VMSINSTAL Command Procedure を参照してください。

さらに日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールする前に，次のことを確認してください。

1. 標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 がインストールされている ( 詳細は，第 1.5.1 項を参照 ) 。
2. XPG4 ロケール・データ・ファイルの日本語サポート部分がインストールされている ( 詳細は，第 1.5.2 項を参照 ) 。
3. 十分なディスク・スペースがある ( 詳細は，第 1.8 節を参照 ) 。
4. システムに十分なグローバル・ページとグローバル・セクションがある ( 詳細は，第 1.9 節を参照 ) 。
5. 日本語 OpenVMS VAX V6.1， V6.2， V7.0， V7.1 または V7.2 からのアップグレードの場合，第 1.11 節に示されている準備を行った。
6. OpenVMS クラスタ・システムでローリング・アップグレードを行うとき以外は，インストールするノード以外のノードは，シャットダウンしておく。

## 2.2 日本語 Compaq OpenVMS VAX インストレーションの手順

この節では，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーションの手順を説明します。

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のキット名は JVMS073 です。提供媒体が CD-ROM の場合は，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 CD-ROM のマスタ・ファイル・ディレクトリ[000000]にキットが含まれています。また提供媒体が TK50 あるいは 9 トラック 1600 BPI 磁気テープの場合は，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 キットの 1 巻目に含まれています。

◆手順 1 ◆

CD-ROM， TK50，磁気テープ，いずれの場合でも，それぞれ提供媒体をドライブ装置にロードし，システム・マネージャのアカウントにログインして，次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL JVMS073 ddcu: [OPTIONS N]
```

ここで， ddcu: は提供媒体をロードした CD-ROM ドライブ装置またはテープ・ドライブ装置の装置名です。

OPTIONS N を指定すると，『日本語 Compaq OpenVMS V7.3　リリース・ノート』が日本語端末から読めるようになります。

◆手順 2 ◆

次に， VMSINSTAL の初期メッセージが表示されます。さらに各種のチェックが行われ，不都合があれば警告メッセージが表示されます。 VMSINSTAL のチェックする項目には以下のものがあります。

- ログインしているアカウントが必要な特権をもっているか
- インストレーションに十分なクォータを持っているか
- システムにログインしているユーザがいるか

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールするためには，特権を持つアカウントでログインする必要があります。もし VMSINSTAL がインストレーション中に問題を見つけると，その問題を通知してインストレーションを継続するかどうかを尋ねてきます。

```
* Do you want to continue anyway [NO]?
```

この場合に， YES を入力するとインストレーションは継続し， NO または Return を入力するとインストレーションは打ち切られます。そのときは問題箇所を修正してインストレーションを再実行してください。

YES または NO で入力を求める質問に対しては， "YES"のかわりに "Y"， "NO"のかわりに "N"と入力してもかまいません。また質問に対する答えが質問の文末の[]内に該当するときは，単に Return を入力することによって答えることができます。

◆手順 3 ◆

次にバックアップの確認のメッセージが出ます。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

このままインストールを継続したいときは， YES または単に Return を入力します。中止したいときは NO を入力します。

◆手順 4 ◆

VMSINSTAL の起動時に OPTIONS N を指定した場合，次のような選択肢が表示されます。

```
Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

Additional Release Notes Options:

   1.  Display release notes
   2.  Print release notes
   3.  Both 1 and 2
   4.  None of the above
```

```
* Select option [2]: 2
* Queue name [SYS$PRINT]: RETURN
```

1 を選択した場合には，『日本語 Compaq OpenVMS V7.3　リリース・ノート』を日本語端末から見ることができます。 2 の場合には，リリース・ノートを印刷するために，キューを指定します。上記の例では省略時の設定の SYS$PRINT キューに印刷を指示しています。 3 の場合は両方を指定します。 4 の場合には，リリース・ノートのファイルは SYS$HELP に置かれます。リリース・ノートは OPTIONS N を指定する，しないにかかわらず，以下のところに置かれます。

```
SYS$HELP:JSY$073.RELEASE_NOTES
```

次に，以下のように聞いてきます。

```
* Do you want to continue the installation [NO]?
```

ここで NO または Return を入力すると，インストレーションは打ち切られます。YES ならば先へ進みます。

◆手順 5 ◆

これで，日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーションが始まります。

日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーションの例は，付録 A を参照してください。ここでは，ユーザに対しての VMSINSTAL からの問い合わせを中心に説明します。

**注意**

インストレーション中の端末への出力は付録 A に示します。ここでは，インストレーション中の VMSINSTAL からの質問とメッセージについて解説します。

なお， VMSINSTAL を途中で強制終了する場合には， Ctrl/Y を押します。このとき VMSINSTAL は，その時点までに作成したすべてのファイルを削除し，処理を終了します。

◆手順 6 ◆

また，SYSGEN パラメータの TTY_CLASSNAME が "KJ"になったままの場合は，次の警告メッセージが表示され，インストレーションを継続するかどうかを聞いてきます。

```
    %JVMS-W-INVTTY, terminal class driver is not TTDRIVER.
    -JVMS-W-INVTTY, this may cause some unexpected installation errors.
  * Do you want to continue installation of OpenVMS/Japanese VAX [YES/NO]?
```

このメッセージが表示された場合，NO と入力してインストレーションを中止し，TTY_CLASSNAME を "TT"に設定し直してから再びインストレーションを行うようにしてください。 SYSGEN パラメータの設定の詳細については，『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

◆手順 7 ◆

続いて VMSINSTAL は順次，次のことがらを聞いてきます。

1. 古いファイルをパージするかどうか
2. IVP (Installation Verification Procedure) を実行するかどうか
3. PAK (Product Authorization Key) が登録，ロードされているかどうか

実際の質問は以下のとおりです。これらの質問は応答のしかたによって，省略されることがあります。

```
  * Do you want to purge files replaced by this installation [YES] ?
```

これは日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーションで，新しいファイルが提供されたものについて古いファイルを削除するかどうかの質問です。 YES を入力すると古いファイルは削除され，新しいファイルだけが残ります。

```
    * Do you want to run IVP after the installation [YES]?
```

これは，インストレーションの後に，IVP（インストレーション検証プロシージャ) を実行するかどうかの質問です。 YES を入力すると，インストレーションに続いて自動的に IVP が実行されます。

IVP は，ユーザの指定した日本語 Compaq OpenVMS VAX の各ユーティリティが，正しくインストールされたかどうかをチェックします。

IVP についての詳細は，第 3 章を参照してください。

◆手順 8 ◆

```
* Does this product have an authorization key registered and loaded?
```

この質問に先立ち， VMSINSTAL は PAK の登録およびロードの確認のため製品名，製造者，バージョン，リリース日時を次のように表示します。

```
Product:      VMS-UI-JAPANESE
Producer:     COMPAQ
Version:      7.3
Release Date: 13-JUL-2001
```

日本語 Compaq OpenVMS VAX を使用するためには，ライセンス (PAK) を SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM コマンド・プロシージャか LICENSE コマンドで登録し，ロードしなければなりません。これはインストレーションの前でも後でも可能ですが，なるべくインストレーションの前に PAK を登録してください。詳細は『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

すでに， PAK を登録しロードしてあるときは YES を，そうでないときは NO を入力してください。 YES を入力したときに限り前項の IVP は実行されます。 NO と入力したときには以下のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-W-NOIVP, IVP will not be run, license not registered.

%VMSINSTAL-I-IVP, It is recommended that the IVP be run after the license
                  has been registered.
```

この場合にはインストレーション終了後にも，次のようにして IVP を実行することができます。これは，インストレーション後に PAK を登録，ロードした後に行ってください。

```
$ @SYS$TEST:JSY$IVP.COM
```

◆手順 9 ◆

現在のシステム・ディスクのフリー・ブロック数が日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 セーブセット B のサイズ，すなわちアップデートに必要な最低限のフリー・ブロック数に満たない場合には，次のメッセージを表示します。

```
%JVMS-E-BADCONFIG, this system is not configured correctly
to install OpenVMS/Japanese VAX.

You must have 16500 free blocks to perform this upgrade.

This system is not configured correctly.  Please read the
OpenVMS/Japanese VAX V7.3 installation guide for preparing your
system for an upgrade.
```

現在のシステム・ディスクのフリー・ブロック数が日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のすべてのファイルをインストールできる数量がある場合は，次のメッセージが出力され，すべてのファイルがインストールされます。

```
The full OpenVMS/Japanese VAX kit will be installed on this system disk.
The following components (with approximate sizes) will be provided:

   o  OpenVMS/Japanese utilities     - 26000 blocks
   o  OpenVMS/Japanese optional      -  7000 blocks
   o  DECwindows/Japanese files      - 27000 blocks

Space remaining:  xxx blocks
```

**注意**

xxx は整数値で，システムによって異なります。以下に出てくる xxx も同じ意味です。

日本語 Compaq DECwindows サポートに関する表示および質問は，標準版 Compaq OpenVMS で DECwindows ファイルをインストールしている場合にのみ適用されます。

現在のシステム・ディスクのフリー・ブロック数が，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のすべてのファイルをインストールできる数量に満たない場合は，次のメッセージが出力されます。この場合には，インストールすべきファイル ( 日本語 Compaq OpenVMS VAX ユーティリテイ，日本語 Compaq OpenVMS VAX オプショナル，日本語 Compaq DECwindows サポートのいずれか ) を質問にしたがって答えます。

```
This system disk is not large enough for the full OpenVMS/Japanese VAX kit
to be installed.  You must select the options you want to have installed.
You can choose to install one or more of the following OpenVMS/Japanese VAX
components:

     o  OpenVMS/Japanese utilities         - 26000 blocks
     o  OpenVMS/Japanese optional          -  7000 blocks
     o  DECwindows/Japanese files          - 27000 blocks
```

まず，日本語 Compaq OpenVMS VAX ユーティリティをインストールするかどうかが質問されます。インストールする場合には， YES と答えます。 NO と答えるとインストールされません。

```
* Do you want to install the  OpenVMS/Japanese utility files? (Y/N)
```

上記の質問に YES と答えた場合のシステム・ディスクのフリー・ブロック数の残量が，次に示されます。

```
Space remaining:  xxx blocks
```

次に，日本語 Compaq OpenVMS VAX オプション・ファイルをインストールするかどうかが質問され， YES と答えた場合にはシステム・ディスクのフリー・ブロック数の残量が次に示されます。

```
* Do you want to install the  OpenVMS/Japanese optional files? (Y/N)
Space remaining:  xxx blocks
```

続いて日本語 Compaq DECwindows サポートをインストールするかどうかが質問され， YES と答えた場合にはシステム・ディスクのフリー・ブロック数の残量が次に表示されます。

```
* Do you want to install DECwindows support files? (Y/N)
Space remaining:  xxx blocks
```

上記の 3 つの質問で答えた結果が以下のように表示されます。

```
The following options will be provided:
```

日本語 Compaq OpenVMS VAX ユーティリティをインストールすると答えた場合：

```
OpenVMS/Japanese utilities
```

日本語 Compaq OpenVMS VAX オプショナルをインストールすると答えた場合：

```
OpenVMS/Japanese optional
```

日本語 Compaq DECwindows サポートファイルをインストールすると答えた場合：

```
DECwindows/Japanese files
```

いずれのファイルもインストールしない場合：

```
No options selected
```

これらのファイルをインストールした際の，システム・ディスクのフリー・ブロック数の残量が次に示されます。

```
Space remaining:  xxx blocks
```

選択したファイルが正しく，インストールの実行を進めてもよいときは， YES を入力してください。選択したファイルを誤った場合には NO を入力して，やり直してください。

```
* Is this correct? (Y/N)
```

選択したファイル・サイズの合計がシステム・ディスクのフリーブロック数を超えてしまうときは，次のメッセージが表示されます。その場合にはもう 1 度ファイルを選択し直すか，ファイルの選択を中止する必要があります。

```
%JVMS-E-BADCONFIG, this system is not configured correctly to install
OpenVMS/Japanese VAX.
   *****  Insufficient disk space  *****
        Space remaining:  xxx blocks
   Please select new options
```

**注意**

ここでの xxx は負の整数が表示されます。

ファイルの選択をしていないのに，上記のメッセージが表示される場合には，次のメッセージが出力されます。この場合には弊社の各支店/営業所にご相談ください。

```
Disk does not contain enough free blocks to install the minimum
required files.  Please contact your DIGITAL representative.
```

これで日本語 Compaq OpenVMS VAX に関する質問は終わりです。

◆手順 10 ◆

すべての質問が終了すると，以下のメッセージが出力されて， VMSINSTAL はユーザの応答にしたがって日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールします。

```
%JVMS-I-NOMOREQ, There are no more questions.
```

以降，次の順にメッセージが出力されてインストールが実行されます。

```
%JSY-I-INSTALLING, Deleting old OpenVMS/Japanese files
```

- 古いバージョンのファイルを削除するとき
  （日本語 Compaq OpenVMS VAX を新規にインストール場合にもメッセージは表示されます）

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
                          SYS$COMMON:[JSYEXE].
                      .
                      .
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
                          SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.XTPU].
```

このときのメッセージは，日本語 Compaq OpenVMS VAX を新規にインストールする場合とアップデートする場合とで多少異なります。

- 日本語 Compaq OpenVMS VAX の必須部分がインストールされるとき

  ```
  %JVMS-I-PROVIDING, Providing OpenVMS/Japanese Required
  ```

- 日本語 Compaq OpenVMS VAX ユーティリティがインストールされるとき（日本語 Compaq OpenVMS VAX ユーティリティをインストールすると答えた場合のみ）

  ```
  %JVMS-I-PROVIDING, Providing OpenVMS/Japanese Utilities
  ```

- 日本語 Compaq OpenVMS VAX オプショナルがインストールされるとき（日本語 Compaq OpenVMS VAX オプショナルをインストールすると答えた場合のみ）

  ```
  %JVMS-I-PROVIDING, Providing OpenVMS/Japanese Optional
  ```

- 日本語 OpenVMS DECwindows サポート・ファイルがインストールされるとき (日本語 OpenVMS DECwindows サポート・ファイルをインストールすると答えた場合のみ)

  ```
  %JVMS-I-PROVIDING, Providing DECwindows/Japanese files -
  ```

◆手順 11 ◆

VMSINSTAL は，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 を構築し終わった後，日本語 Compaq OpenVMS VAX のファイルを目標とする場所に実際に移動します。

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target
directories...
```

◆手順 12 ◆

IVP を実行するという応答をした場合は，IVP が実行されます。

IVP が終了すると日本語 Compaq OpenVMS VAX のインストレーションは終了しますが，この後，日本語 Compaq OpenVMS VAX のスタートアップなどのための作業をする必要があります。詳細は，第 4 章を参照してください。

インストレーションや IVP でエラーが起きたときは，第 5 章を参照して対処してください。

◆手順 13 ◆

正常に日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のインストレーションが終了すると，以下のメッセージが表示されます。

```
Installation of OpenVMS/Japanese VAX V7.3 completed at hh:mm
VMSINSTAL procedure done at hh:mm
```

**注意**

ここで，hh は時，mm は分を表します。

# 3
# インストレーションの検証

この章では，インストレーションの検証について説明します。

## 3.1 日本語 Compaq OpenVMS インストレーション検証プロシージャ

日本語 Compaq OpenVMS インストレーション・キットには，日本語 Compaq OpenVMS が正しくインストールされたかどうか確認するための，インストレーション検証プロシージャ（IVP）が含まれています。インストレーション検証プロシージャ（JSY$IVP.COM）は，SYS$TEST に置かれます。ただし，これは日本語 Compaq OpenVMS オプショナル・セーブセットをインストールしている場合に限ります。

インストレーション検証プロシージャは，日本語 Compaq OpenVMS の主な 14 個のユーティリティについてのテストから構成されており，このコマンド・プロシージャが正常終了した場合は，日本語 Compaq OpenVMS が正しくインストールされたことを示します。

日本語 Compaq OpenVMS のインストレーション時に IVP の実行を指定すると，VMSINSTAL は，日本語 Compaq OpenVMS の各ユーティリティがインストールされた後に，インストレーション検証プロシージャを起動します。

また，日本語 Compaq OpenVMS のインストレーション後に PAK を登録しロードした後に，単独でインストレーション検証プロシージャを実行することもできます。その場合には，

```
$ @SYS$TEST:JSY$IVP.COM
```

と入力してインストレーション検証プロシージャを起動します。ただし，この場合には，SYSPRV 特権が必要です。

次のような場合には，インストレーション検証プロシージャを実行してください。

- 日本語 Compaq OpenVMS VAX テーラリング・ユーティリティで，日本語 Compaq OpenVMS VAX ファイルを追加または削除した際の実行結果を検証する必要がある場合
- 何らかの異常動作の原因調査のために，インストレーション検証プロシージャを実行する必要がある場合

インストレーション検証プロシージャは，日本語 Compaq OpenVMS の 14 個のユーティリティが，それぞれインストールされているかどうかを判断し，インストールされていたならば，そのユーティリティについてのテストを実行します。

各ユーティリティそれぞれについてのテストが終了した時点で，そのユーティリティに問題が発見された場合，エラー・メッセージが出力されます。そして，14 個のテストすべてが終了した後に，日本語 Compaq OpenVMS のインストレーションが成功したかどうかのメッセージが出力されます。エラー・メッセージは JSY$TEST:ERROR.DAT にも出力されます。

すべてのユーティリティについてのテストの実行ではなく，1 つのユーティリティについてだけテストを実行することができます。その場合には，

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM [ユーティリティ・テスト名]
```

と入力してください。たとえば，JSORT ユーティリティの場合には，次のようになります。

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM IVP_JSORT
```

上記の@SYS$TEST:JSY$IVP.COM は，これらのユーティリティ単独のテストを次の順番に実行しています。

IVP_CMGR
IVP_FIP

IVP_JCOBOL
IVP_JDICEDIT
IVP_JMAIL
IVP_JSORT
IVP_KANJIGEN
IVP_KCODE
IVP_KCONVERT
IVP_KINQUIRE
IVP_NCOBOL
IVP_TMH
IVP_XTPU
IVP_JSNA

ただし，テストはインストールされているユーティリティについてだけ実行されます。 IVP が正しく実行されるためには，ファイル F_[ IVP 名].DAT が JSY$TEST に存在していなければなりません。もし，それがないとエラー・メッセージが出力されます。また，ファイル F_NECESSARY.DAT も存在しなければなりません。

IVP を途中で止めたいときは Ctrl/Y を押してください。

インストレーション検証プロシージャが，正常に終了した場合の出力メッセージについては，付録 C を参照してください。

現在使用中の日本語 Compaq OpenVMS VAX システムが，日本語オプショナル・セーブセット ( 第 1.2.3 項を参照 ) をインストールしていないときには，まず，日本語テーラリング・ユーティリティで，インストレーション検証プロシージャのテーラ・クラスをテーラ・オン指定し，システム・ディスクに追加してから実行する必要があります。詳しくは第 6 章を参照してください。

なお，インストレーション検証プロシージャは，日本語 Compaq OpenVMS VAX ライセンスが登録されていないと，インストール終了時には実行されません。

# 4

# インストレーション後の作業

この章では，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールした後に行う作業について説明します。

## 4.1 イニシャル・インストール後の作業

日本語 Compaq OpenVMS VAX を初めてシステムにインストールした場合は，インストール後に次の作業を行ってください。なお，日本語 Compaq OpenVMS VAX V6.1， V6.2， V7.0， V7.1 または V7.2 からアップグレードを行った場合は，第 4.2 節 "アップグレード後の作業 "をご覧ください。

### 4.1.1 日本語 Compaq OpenVMS スタートアップ

日本語 Compaq OpenVMS を使用する前に，論理名やノウン・イメージなどの初期化が必要です。標準版 Compaq OpenVMS を立ち上げたときに，日本語 Compaq OpenVMS も自動的に初期化されるように以下の作業をしてください。OpenVMS クラスタ・システムの場合は，各ノードごとに行ってください。

1. SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に次のように日本語 Compaq OpenVMS スタ-トアップ・プロシージャを実行する行を追加してください。

   ```
   $ @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
   ```

   なお JSY$STARTUP.COM は，テンプレート・ファイル JSY$STARTUP.TEMPLATE も提供されていますので，それを使って独自のスタートアップ・プロシージャを作ることも可能です。

2. 漢字プリンタを使用するときは，次のコマンドをSYS$MANAGER:JSY$SETUP_PRINT.COM に追加してください。

```
$ ASSIGN/SYSTEM ddcu: JSY$PRINT
```

ここで， ddcu: は漢字プリンタの装置名です。また， JSY$SETUP_PRINT を実行するために，次の 1 行を SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の，JSY$STARTUP， STARTNET， LAT$STARTUP の後ろに追加してください。

```
$ @SYS$MANAGER:JSY$SETUP_PRINT.COM
```

3. システムの省略時のロケールを設定する時は，次のコマンドを SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.sdeckanji"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.sdeckanji に設定しています。設定可能な日本語ロケールは次の 4 つのいずれかです。

ja_JP.deckanji
ja_JP.sdeckanji
ja_JP.eucJP
ja_JP.sjis

4. システムをリブートしてください。日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 がスタートします。 OpenVMS クラスタ・システムで，ライセンスがロードされていないために日本語 Compaq OpenVMS が実行できないときは， LICENSE LOAD コマンドでライセンスをロードしてください。

詳細は，『Compaq OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

### 4.1.2 漢字ターミナルの設定

実際に日本語ユーティリティを使用する前に，漢字ターミナルの設定を行わなければなりません。

詳細は，『日本語 Compaq OpenVMS 概説書』を参照してください。

## 4.2 アップグレード後の作業

日本語 Compaq OpenVMS VAX V6.1， V6.2， V7.0， V7.1 または V7.2 から日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 にアップグレードを行った場合には，以下の作業を行ってください。

1. アップグレード前にコメント・アウトした SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の中の日本語 Compaq OpenVMS 関係の初期化処理を行っている箇所（たとえば JSY$STARTUP.COM， KANJIUP.COM を呼び出している部分や漢字プリンタの装置 ddcu を割り当てている部分）をもとにもどし，システムのブート時に日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 が起動するようにしてください。

```
$ @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP
$ ASSIGN ddcu: JSY$PRINT
$ @JSY$SYSTEM:KANJIUP
```

2. システムの省略時のロケールを設定する時は，次のコマンドを SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.sdeckanji"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.sdeckanji に設定しています。

設定可能な日本語ロケールは次の 4 つのいずれかです。

ja_JP.deckanji
ja_JP.sdeckanji
ja_JP.eucJP
ja_JP.sjis

3. ワークステーションで日本語 DECwindows Motif を実行していて，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 へのアップグレード前に SYSTEM アカウントのセッション・マネージャの言語設定を「日本語」から「US English」に変更した場合は，「日本語」に戻してください。
4. システム・パラメータを日本語 Compaq OpenVMS 用に変えるために，次のコマンド・プロシージャを実行してください。システムは AUTOGEN をかけられシャット・ダウンされます。

```
$ @JSY$SYSTEM:JSY$SETPARAMS.COM
```

   なお OpenVMS クラスタ・システムのノードで， JSY$SYSTEM がまだ定義されていない場合，この前に次のコマンドを入力して定義してください。

```
$ @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP
```

   このとき，日本語システムのスタートアップが完全に行われないというメッセージが表示されますが，無視してください。
5. システムをリブートしてください。システムの設定が変更され，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 がスタートします。

## 4.3 問題点の通知

本ソフトウェアについては，弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので，その内容にしたがった処置を取ってください。

なお，ご不明な点につきましては，弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

# 5
# エラー・リカバリ

この章では，日本語 OpenVMS VAX V7.3 をインストールする際にエラーがでた場合と，その対処方法について説明します。

## 5.1 インストレーション・エラー

インストレーション中に出るエラーには，次のようなものがあります。

エラー， %JVMS-E-BADVMS, OpenVMS/Japanese VAX Version 7.3 requires OpenVMS VAX Version 7.3

対処方法: 標準版 Compaq OpenVMS VAX のバージョンが 7.3 ではないので，標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のキットを使用して，標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールします。

エラー， %JVMS-E-NOLOCALE, Japanese locale data files are not installed on this system.
%JVMS-E-NOLOCALE, You must install VMSI18N073 kit first.

対処方法: ロケール・データ・ファイル・キット VMSI18N073 がインストールされていない，または VMSI18N073 インストール時に日本語サポートが選択されていません。 VMSI18N073 キットから日本語サポートをインストールしてから，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 本体をインストールします。

エラー, %JVMS-E-BADCONFIG, this system is not configured to install OpenVMS/Japanese

(1): 現在のシステム・ディスクのフリー・ブロック数が，日本語 Compaq OpenVMS V7.3 必須セーブセットのサイズ，すなわちアップグレードに必要な最低限のフリーブロック数に満たない場合には，次のメッセージを表示します。

```
You must have 16500 free blocks to perform this upgrade.

    This system is not configured correctly.  Please read the
    OpenVMS/Japanese VAX V7.3 installation guide for preparing your
    system for an upgrade.
```

対処方法: システム・ディスクのスペースが足りないので，不必要なファイルを消去するなどの処置をしてください。詳細は，第 1.8 節を参照してください。

(2): 選択したファイル・サイズが，システム・ディスクのフリー・ブロック数を超えてしまうときは，次のメッセージが表示されます。そのときはもう 1 度ファイルを選択し直すか，ファイルの選択をやめる必要があります。

```
*****  Insufficient disk space  *****

    Space remaining:  xxx blocks

Please select new options
```

**注意**

ここでは， xxx は負の整数になります。

ファイルの選択をしていないのに上記のメッセージが表示される場合には，次のメッセージが出力されます。

```
Disk does not contain enough free blocks to install the minimum
required files.
Please contact your DIGITAL representative.
```

対処方法: システム・ディスクのスペースが足りないので，不必要なファイルを消去するなどの処置をしてください。詳細は，第 1.8 節を参照してください。

(3): 日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールするために必要なグローバル・ページ，またはグローバル・セクションが不足している場合には，次のメッセージを表示します。

```
You must have  8500 global pages, and 75 global sections to perform
this upgrade.

This system is not configured correctly.  Please read the
OpenVMS/Japanese VAX V7.3 installation guide for preparing your
system for an upgrade.
```

対処方法: 本書第 1.9 節を参照してください。

警告, %JVMS-W-INVTTY, terminal class driver is not TTDRIVER-JVMS-W-INVTTY, this may cause some unexpected errors

対処方法: ターミナル・ドライバが標準の TTDRIVER でないため，インストレーションを継続した場合に，予期しないエラーを生じる可能性があります。安全のためインストレーションを中断し，システム・パラメータの TTY_CLASSNAME を "TT"に設定し直した後，システムをリブートしてください。

## 5.2 検証エラー

日本語 Compaq OpenVMS のインストレーション検証時のエラーには，以下のようなものがあります。

エラー， %DCL-E-OPENIN, error opening SYS$TEST:[directory]JSY$IVP.COM;
as input
-RMS-F-DEV, error in device name or inappropriate device type for
operation

対処方法: 論理名 JSY$TEST が定義されていないので，日本語 Compaq OpenVMS のスタートアップ・プロシージャ SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM を実行し， JSY$TEST に， SYS$COMMON:[SYSTEST.JSY]を割り当ててください。

詳細は，第 4 章を参照してください。

エラー， %RMS-E-PRV, insufficient privilege on file protect violation

対処方法: SYSPRV 特権がプロセスについていないので，以下のようにしてこの特権を付けるか，特権を持ったアカウント（ SYSTEM など）から実行してください。

```
$ SET PROCESS/PRIVILEGE=SYSPRV
```

# 6

# 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティ

この章では，日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティについて説明します。

## 6.1 テーラリング・ユーティリティの使用方法

日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティは，日本語 Compaq OpenVMS をインストールしたシステム・ディスクに新たに日本語 Compaq OpenVMS ファイルを追加する，または，そこから日本語 Compaq OpenVMS ファイルを削除することを可能にします。追加または削除すべき日本語 Compaq OpenVMS のファイルは，クラス（機能単位）とサブクラス（クラスの中のユーティリティ単位）とで指定します。日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティは，次の 3 段階から成り立っています。

第 1 段階:

```
Do you want to tailor files "ON" or "OFF"?
```

この質問は現在の日本語 Compaq OpenVMS システムに対し，日本語 Compaq OpenVMS ファイルを追加（テーラ・オン）するか，削除（テーラ・オフ）するかを答えます。

第 2 段階:

日本語 Compaq OpenVMS ファイルの各クラスを表示します。第 1 段階の質問で，テーラ・オンを指定した場合は，システム・ディスクに追加すべきクラスを指定し，テーラ・オフを指定した場合は，システム・ディスクから削除すべきクラスを指定します。

第 3 段階:

テーラリング・ユーティリティが，上記の指定に従った実行を行います。テーラリング・ユーティリティを第 1 または第 2 段階で中止したいときは，Ctrl/C，Ctrl/Y，または，Ctrl/Zを押してください。第 3 段階で中止した場合には，テーラリングが不完全な状態のディスクになってしまう場合がありますので，注意してください。

次に，日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティからの問い合わせを説明します。

```
CLASS - XXXXXX

     Size of entire class (with subclasses): nnn
     Size of common files required for any subclass : mmm
```

最初に表示されるのは，日本語 Compaq OpenVMS ファイルの各クラス名です。各クラスではクラス全体のファイル・サイズ，そのクラス内の任意のサブクラスが動作するために必要な共通ファイルのサイズがブロック数で表示され，削除または追加した際のディスク容量の変化量の目安を指しています。また各クラスでは次のような質問がされます。

1.

```
Do you wish to select the entire class (default = NO)?
```

このクラスに含まれるすべての日本語 Compaq OpenVMS ファイルを追加（テーラ・オンのとき）または削除（テーラ・オフのとき）することを指定するかが問われます。デフォルトは NO です。

2.

```
Do you wish to select any of its subclass (default = NO)?
```

(1) の質問で NO（または単に Return ）と答えたときにだけ，この質問が問われます。このクラス XXXXXX にあるサブクラスの，少なくとも 1 つは追加（テーラ・オンのとき）または削除（テーラ・オフのとき）することを指定するかが問われます。デフォルトは NO です。

3.

```
Select the subclasses that you with to use:
                SUBCLASS - YYYYYY (qqq blocks) [NO]:
```

(2) の質問で YES と答えたときにだけ，この質問が問われます。このクラス XXXXXX にあるすべてのサブクラス YYYYYY をそのファイル・サイズとともに表示し，順番に追加 ( テーラ・オンのとき ) または削除 ( テーラ・オフのとき ) を指定するかが問われます。デフォルトは NO です。

4.

```
No subclasses in this tailor class.
```

このクラスにはサブクラスが存在しないときには，(1) の質問に先だって上記のメッセージが表示されます。その場合には，質問 (2) および (3) は問われません。

すべての日本語 Compaq OpenVMS テーラ・クラスについての質問に答え，その中で日本語 Compaq OpenVMS ファイルを選択したときには，次のメッセージが表示されます。

5.

```
Files have been selected
       Do you wish to add (remove) all of options selected?
```

上記の質問で選択した日本語 Compaq OpenVMS ファイルを，テーラ・オンを指定しているときは，システム・ディスクに追加することを，テーラ・オフを指定しているときは，システム・ディスクから削除することを確認します。ここでもし NO と入力すると次のメッセージが表示されテーラリングの実行は行われないで，テーラリング・ユーティリティは終了します。

```
%VMSTLR-W-NOTLR, No tailoring has been done
```

一方， YES と入力すると次のメッセージが表示され，テーラリングの実行が行われます。

6. テーラ・オンの場合

```
* Enter device containing OpenVMS/Japanese distribution media:
```

ここでは，日本語 Compaq OpenVMS のディストリビューション・メディアをマウントする装置名を入力してください。この質問に答えると次のメッセージが表示され，テーラ・オンを指定した日本語 Compaq OpenVMS ファイルの，バックアップ・コピーが始まります。

```
%BACKUP-S-CREATED, created [VMS/Japanese-file-name]
```

7. テーラ・オフの場合

テーラ・オフを指定したテーラ・クラスに属する日本語 Compaq OpenVMS ファイルが，削除されます。

```
%VMSTLR-I-DELFILE, Deleting file: [VMS/Japanese-file name]
```

テーラ・オフを指定したファイルが既にシステム上にない場合には，次のメッセージが表示されますが，作業はそのまま続きます。

```
%RMS-E-FNF, file not found
```

すべてのテーラ・オン，またはテーラ・オフを指定したファイルが追加，削除されると AUTOGEN が始まります。

```
%AUTOGEN-I-BEGIN, SAVPARAMS phase is beginning.
```

AUTOGEN に続いてシステムがリブートされます。

```
%AUTOGEN-I-BEGIN, REBOOT phase is beginning.
```

なお，テーラ・オンとテーラ・オフ時のクラス，サブクラスの指定については以下のような違いがありますので注意が必要です。

テーラ・オンのときには，あるテーラ・クラスのサブクラスを 1 つでも選んだときは，そのテーラ・クラスの共通ファイルも同時にテーラ・オンされます。しかし，テーラ・オフのときには，あるテーラ・クラスのサブクラスを選んだときはそのサブクラスのみがテーラ・オフされ，そのテーラ・クラスの共通ファイルは同時にはテーラ・オフされません。あるテーラ・クラスの共通ファイルをテーラ・オフするときは，そのテーラ・クラス全体を，テーラ・オフ指定してください。

本書の付録 E, 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティの出力例も参照してください。

### 6.1.1 日本語 Compaq OpenVMS テーラ・クラス

日本語 Compaq OpenVMS のテーラ・クラスおよびサブクラスには次のものがあります。

| セーブセット | クラス | サブクラス |
|---|---|---|
| ユーティリティ | 日本語ユーティリティ | KCODE ユーティリティ |
| | | KCONVERT ユーティリティ |
| | | KINQUIRE ユーティリティ |
| | | 辞書編集ユーティリティ |
| | | 日本語メール・ユーティリティ |
| | | 日本語 SORT/MERGE |
| | | 日本語システムのヘルプ |
| | | JSNA , JEF , KEIS code ユーティリティ |
| ユーティリティ | 漢字ユーティリティ | 漢字フォント・ユーティリティ<br>CMGR ユーティリティ |
| | | 漢字プリント・シンビオント<br>漢字ターミナル・ポート・ドライバ |
| | | FIP ユーティリティ |
| ユーティリティ | プログラミング・サポート | 日本語ライブラリ・インクルード・ファイル |
| | | ユーザ・キー定義ライブラリの<br>キー定義ファイル ( テキスト形式 ) |
| ユーティリティ | 翻訳ヘルプ・メッセージ | なし |
| オプショナル | インストレーション検証<br>プロシージャ | なし |

| セーブセット | クラス | サブクラス |
|---|---|---|
| オプショナル | サンプル・プログラム | なし |
| オプショナル | 古いファイル | なし |
| 日本語 Compaq DECwindows サポート | 日本語 Compaq DECwindows サポート | キーマップファイル |
| | | フォントエイリアス |
| | | 75dpi フォントファイル |
| | | 100dpi フォントファイル |

なお，日本語 Compaq OpenVMS の各テーラ・クラス，サブクラスに属する日本語 Compaq OpenVMS ファイルの一覧については，SYS$UPDATE:JSY$TAILOR.DAT を参照してください。

# A

# 日本語 Compaq OpenVMS VAX バージョン 7.3 のインストレーション例

```
$ @ sys$update:vmsinstal

 OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V7.3

It is 16-MAY-2001 at 14:00.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
* Where will the distribution volumes be mounted: dka400:

Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: jvms073
* Enter installation options you wish to use (none):

The following products will be processed:

  JVMS V7.3

 Beginning installation of JVMS V7.3 at 14:00

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
*                                                                             *
*                  OpenVMS/Japanese VAX V7.3 Installation                     *
*                                                                             *
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?
```

```
 This kit contains an Installation Verification Procedure(IVP)
 in the OPTIONAL saveset to verify the correct installation of
 OpenVMS/Japanese. It will be invoked after this procedure only
 if the optional saveset selected and the authorization key has
 been registered and loaded.
 If the optional saveset has been selected, you can also execute
 the IVP after the installation. If it has not been selected,
 please select the IVP in the optional saveset by OpenVMS/Japanese
 tailoring. And execute the IVP as follows.

 $ @SYS$TEST:JSY$IVP.COM

* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?

        Product:      VMS-UI-JAPANESE
        Producer:     DEC
        Version:      7.3
        Release Date: 15-JUN-2001

* Does this product have an authorization key registered and loaded? y

    The full OpenVMS/Japanese kit will be installed on this system disk.
    The following components (with approximate sizes) will be provided:

        o OpenVMS/Japanese utilities            -  26000 blocks
        o OpenVMS/Japanese optional             -   7000 blocks
        o Decwindows/Japanese files             -  27000 blocks

    Space remaining:  1311209 blocks

* Is this correct [YES/NO]? y

%JVMS-I-NOMOREQ, there are no more questions

It will take 40 minutes to install full OpenVMS/Japanese
feature on VAXstation 4000/60 with TK50.
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
SYS$COMMON:[JSYEXE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSHLP.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSMSG.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSLIB.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW].
%CREATE-I-EXISTS, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW] already exists
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSMAINT.DASC].

%JSY-I-INSTALLING, Deleting old VMS/Japanese files
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
SYS$COMMON:[SYSTEST.JSY].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
SYS$COMMON:[JSYEXE.EXAMPLES].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.XTPU].

%JVMS-I-PROVIDEDCL, providing OpenVMS/Japanese DCL COMMANDS

%JVMS-I-INSTALLING, now copying the OpenVMS/Japanese V7.3 files
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set D ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...

%JVMS-I-HELPUPD, OpenVMS/Japanese JSYHELP updated

%JVMS-I-HELPUPD, OpenVMS/Japanese HELP updated

%JVMS-I-PROVIDING, providing OpenVMS/Japanese Required

%JVMS-I-PROVIDING, providing OpenVMS/Japanese Utilities

%JVMS-I-PROVIDING, providing OpenVMS/Japanese Optional

%JVMS-I-PROVIDING, providing OpenVMS/Japanese J-DECwindows Support

    Please ignore the following error message if it is displayed.

 %SMI-E-IMGDUPINV, image JSY$RMS_EXTENSION for product JSY$LDR already
 in image table


------------------------------------------------------------------------------
```

```
    System Manager:

 Upon completion of this installation,

    (1) Edit SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM

  Please insert

  $ @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM

  and other optional command lines to the system startup
  file (SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM) as described in
  "OpenVMS/Japanese VAX Version 7.3 Installation Guide"
  and "OpenVMS/Japanese Version 7.3 Release Notes".

  And please REMOVE the line for XPG4 startup, if it exists.

  $! @SYS$STARTUP:XPG$STARTUP.COM "ja_JP.deckanji"

    (2) Execute JSY$SYSTEM:JSY$SETPARAMS.COM

  Please execute the command procedure JSY$SYSTEM:JSY$SETPARAMS.COM
  to change your system parameter(s) for OpenVMS/Japanese.

  $ @jsy$system:jsy$setparams

  If jsy$system is not defined, please execute the following
  command to define it or use define command directly.

  $ @sys$startup:jsy$startup.com jvms_directory
 or
  $ define jsy$system sys$common:[jsyexe]

    (3) Reboot the system

  JSY$SETPARAMS automatically shutdowns the system.  After shutdown
  has completed, reboot the system to start OpenVMS/Japanese.

    (4) Operations for the VMScluster system

  Apply (1), (2) and (3) operation to the other VMScluster nodes
  for setting up the correct OpenVMS/Japanese environment.

     * If you want to recover the standard OpenVMS modules later,

  $ run sys$update:jsy$tailor.exe

  to tailor off OpenVMS/Japanese modules such as terminal port drivers,
  other utilities which were provided by OpenVMS/Japanese.
-------------------------------------------------------------------------------
```

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
387 fonts loaded
Creating sys$common:[sysfont.decw.75dpi]DECW$FONT_DIRECTORY.DAT
385 fonts loaded
Creating sys$common:[sysfont.decw.100dpi]DECW$FONT_DIRECTORY.DAT

The following product will be registered:
    DEC VAXVMS JVMS V7.3                  DISK$OVMSVAXSYS:[VMS$COMMON.]

The following product has been registered:
    DEC VAXVMS JVMS V7.3                  Transition (registration)

%JSY-I-LOAD, Load JSY$RMS_EXTENSION...

SYS$COMMON:[SYS$LDR]JSY$RMS_EXTENSION.EXE;1

*****************************************************************
*    JSY$STARTUP.COM -- OpenVMS/Japanese Startup Procedure      *
*         Copyright 2001 Compaq Computer Corporation            *
*****************************************************************
%RUN-S-PROC_ID, identification of created process is 0000021D

OpenVMS/Japanese VAX V7.3

  Installation Verification Procedure
  for OpenVMS/Japanese VAX Operating System Version 7.3

  Copyright 2001 Compaq Computer Corporation

* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
*                                                                           *
*          Beginning of the Installation Verification Procedure             *
*                    for OpenVMS/Japanese VAX V7.3                          *
*                                                                           *
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *

 ####################  Beginning the IVP for CMGR  ##########################
 ####################  Beginning the IVP for FIP  ###########################
 ####################  Beginning the IVP for JCOBOL RTL  ####################
 ####################  Beginning the IVP for JDICEDIT  ######################
 ####################  Beginning the IVP for JMAIL  #########################
 ####################  Beginning the IVP for JSORT/MERGE  ###################
 ####################  Beginning the IVP for KANJIGEN  ######################
```

```
 ####################  Beginning the IVP for KCODE  ##########################
 ####################  Beginning the IVP for KCONVERT  ######################
 ####################  Beginning the IVP for KINQUIRE  ######################
 ####################  Beginning the IVP for NCOBOL RTL  ####################
 ####################  Beginning the IVP for Message/Help  ##################
 ####################  Beginning the IVP for DEC XTPU  ######################
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
*                                                                             *
*   End of OpenVMS/Japanese VAX V7.3 Installation Verification Procedure      *
*                                                                             *
*                      ========== SUCCESSFUL ==========                       *
*                                                                             *
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *

 Installation of JVMS V7.3 completed at 14:07

    Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY

Enter the products to be processed from the next distribution volume set.
* Products:

 VMSINSTAL procedure done at 14:07

$
```

# B

# XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストレーション例

```
$ @ sys$update:vmsinstal

 OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V7.3

It is 16-MAY-2001 at 13:50.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
* Where will the distribution volumes be mounted: dka400:[vmsi18n_vax073.kit]

Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: vmsi18n073
* Enter installation options you wish to use (none):

The following products will be processed:

  VMSI18N V7.3

 Beginning installation of VMSI18N V7.3 at 13:51

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...

  XPG4 Internationalization Datafiles for OpenVMS V7.3 systems

    Copyright (c) Digital Equipment Corporation, 1997.  All rights reserved.

Restricted Rights: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government
is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of
DFARS 252.227-7013, or in FAR 52.227-19, or in FAR 52.227-14 Alt. III, as
applicable.
```

```
This software is proprietary to and embodies the confidential technology
of Digital Equipment Corporation.  Possession, use, or copying of this
software and media is authorized only pursuant to a valid written license
from Digital or an authorized sublicensor.

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?
* Do you want European and US support [YES]? n
* Do you want Chinese support [YES]? n
* Do you want Japanese support [YES]? y
* Do you want Korean support [YES]? n
* Do you want Thai support [YES]? n
* Do you want the Unicode converters? [YES]? n

    This kit  contains an  Installation  Verification  Procedure  (IVP) to
    verify the correct  installation of this kit. The IVP will be placed in:

        SYS$TEST:LOCALE_IVP.COM

    After the installation is complete, you can invoke the command file at
    any time to reverify that the files are installed and working correctly.

* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?

 All questions and verifications regarding the installation of the
 XPG4 Internationalization Components have been completed.  Depending on
 your configuration, time estimates for the remainder of the
 installation are 1 to 3 minutes.

%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.CS_CZ_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.CS_CZ_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DA_DK_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DA_DK_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DA_DK_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DA_DK_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DE_CH_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DE_CH_ISO8859-1-EURO].
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DE_CH_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DE_CH_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DE_DE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.DE_DE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DE_DE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.DE_DE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.EL_GR_ISO8859-7].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.EL_GR_ISO8859-7].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.EN_GB_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.EN_GB_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.EN_GB_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.EN_GB_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.EN_US_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.EN_US_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.EN_US_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.EN_US_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ES_ES_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ES_ES_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ES_ES_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ES_ES_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FI_FI_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
```

```
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FI_FI_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FI_FI_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FI_FI_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_BE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_BE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_BE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_BE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_CA_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_CA_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_CA_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_CA_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_CH_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_CH_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_CH_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_CH_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_FR_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.FR_FR_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_FR_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.FR_FR_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.HU_HU_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.HU_HU_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.IS_IS_ISO8859-1].
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.IS_IS_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.IS_IS_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.IS_IS_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.IT_IT_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.IT_IT_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.IT_IT_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.IT_IT_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.IW_IL_ISO8859-8].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.IW_IL_ISO8859-8].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.JA_JP_DECKANJI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.JA_JP_DECKANJI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.JA_JP_EUCJP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.JA_JP_EUCJP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.JA_JP_SDECKANJI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.JA_JP_SDECKANJI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.JA_JP_SJIS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.JA_JP_SJIS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.KO_KR_DECKOREAN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.KO_KR_DECKOREAN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NL_BE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NL_BE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
```

```
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NL_BE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NL_BE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NL_NL_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NL_NL_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NL_NL_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NL_NL_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NO_NO_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.NO_NO_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NO_NO_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.NO_NO_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.PL_PL_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.PL_PL_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.PT_PT_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.PT_PT_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.PT_PT_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.PT_PT_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.RU_RU_ISO8859-5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.RU_RU_ISO8859-5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.SK_SK_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.SK_SK_ISO8859-2].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.SV_SE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.SV_SE_ISO8859-1-EURO].
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.SV_SE_ISO8859-1].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.SV_SE_ISO8859-1-EURO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.TR_TR_ISO8859-9].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.TR_TR_ISO8859-9].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_CN_DECHANZI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_CN_DECHANZI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_CN_DECHANZI_PINYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_CN_DECHANZI_PINYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_CN_DECHANZI_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_CN_DECHANZI_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_CN_DECHANZI_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_CN_DECHANZI_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_HK_BIG5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_HK_BIG5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_HK_DECHANYU].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_HK_DECHANYU].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_HK_DECHANZI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_HK_DECHANZI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_HK_EUCTW].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_HK_EUCTW].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_BIG5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
```

```
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_BIG5].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_BIG5_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_BIG5_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_BIG5_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_BIG5_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_BIG5_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_BIG5_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_DECHANYU].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_DECHANYU].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_DECHANYU_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_DECHANYU_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_DECHANYU_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_DECHANYU_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_DECHANYU_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_DECHANYU_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_EUCTW].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_EUCTW].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_EUCTW_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_EUCTW_CHUYIN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_EUCTW_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_EUCTW_RADICAL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.USER.ZH_TW_EUCTW_STROKE].
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.MESSAGES.SYSTEM.ZH_TW_EUCTW_STROKE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.ICONV.USER].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system directory
 [SYS$I18N.LOCALES.USER].

  Your OpenVMS system will now be updated to include the following new files:

    SYS$TEST:LOCALE_IVP.COM
    SYS$TEST:LOCALE_IVP.EXE
    SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_DECKANJI.LOCALE     (Japanese)
    SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_EUCJP.LOCALE      (Japanese)
    SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_SDECKANJI.LOCALE     (Japanese)
    SYS$I18N_LOCALE:JA_JP_SJIS.LOCALE      (Japanese)
    SYS$I18N_LOCALE:EUCJP.CMAP
    SYS$I18N_LOCALE:DECKANJI.CMAP
    SYS$I18N_LOCALE:SDECKANJI.CMAP
    SYS$I18N_LOCALE:SJIS.CMAP
    SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_EUCJP.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_ISO2022JP.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_SDECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:DECKANJI_SJIS.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:EUCJP_SDECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:EUCJP_DECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:EUCJP_SJIS.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:ISO2022JP_DECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:ISO2022JP_SDECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_DECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_EUCJP.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_ISO2022JP.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SDECKANJI_SJIS.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SJIS_DECKANJI.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SJIS_EUCJP.ICONV
    SYS$I18N_ICONV:SJIS_SDECKANJI.ICONV

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...

  Copyright (c) Digital Equipment Corporation, 1994.  All rights reserved.

    *-------------------------------------------------*
    *    Installation Verification Procedure          *
    *     for XPG4 Internationalization Components    *
    *-------------------------------------------------*
```

```
  ** XPG4 Internationalization Components Installation Verification Procedure **
  ** Ending at 16-MAY-2001 13:53:55.34 **

 Installation of VMSI18N V7.3 completed at 13:53

    Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY

Enter the products to be processed from the next distribution volume set.
* Products:

 VMSINSTAL procedure done at 13:54

$
```

# C

# インストレーション検証プロシージャ (IVP) の出力例

日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システムのインストレーション検証プロシージャ (IVP) が，正常に終了した場合の出力例を以下に示します。この出力例は，日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 のすべてのユーティリティがインストールされた場合のものです。

例

```
$ @ sys$test:jsy$ivp

  Installation Verification Procedure
  for OpenVMS/Japanese VAX Operating System Version 7.3

  COPYRIGHT (C) 2001 BY COMPAQ COMPUTER CORPORATION, Houston, Texas.
  ALL RIGHTS RESERVED.

* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
*                                                                             *
*          Beginning of the Installation Verification Procedure               *
*                    for OpenVMS/Japanese VAX V7.3                            *
*                                                                             *
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *

 ####################  Beginning the IVP for CMGR  ##########################
 ####################  Beginning the IVP for FIP  ###########################
 ####################  Beginning the IVP for JCOBOL RTL  ####################
 ####################  Beginning the IVP for JDICEDIT  ######################
 ####################  Beginning the IVP for JMAIL  #########################
 ####################  Beginning the IVP for JSORT/MERGE  ###################
```

インストレーション検証プロシージャ (IVP) の出力例

```
 ####################  Beginning the IVP for KANJIGEN  ######################
 ####################  Beginning the IVP for KCODE  #########################
 ####################  Beginning the IVP for KCONVERT  ######################
 ####################  Beginning the IVP for KINQUIRE  ######################
 ####################  Beginning the IVP for NCOBOL RTL  ####################
 ####################  Beginning the IVP for Message/Help  ##################
 ####################  Beginning the IVP for DEC XTPU  ######################
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
*                                                                             *
*   End of OpenVMS/Japanese VAX V7.3 Installation Verification Procedure      *
*                                                                             *
*                      ========== SUCCESSFUL ==========                       *
*                                                                             *
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * * *

$
```

# D

# ファイル一覧

ここでは，日本語 Compaq OpenVMS VAX が使用するファイルの一覧を示します。

## D.1 JSY$DICTIONARY

| | |
|---|---|
| JSYTANGO.JISHO | かな漢字変換用システム辞書 |

## D.2 JSY$EXAMPLES

| | |
|---|---|
| EXAMPLE_FONTS.PRE | フォント・データ例 |
| GETINPUT.BAS | 漢字入出力プログラム例 (BASIC) |
| GETINPUT.BLI | 漢字入出力プログラム例 (BLISS-32) |
| GETINPUT.C | 漢字入出力プログラム例 (C) |
| GETINPUT.COB | 漢字入出力プログラム例 (COBOL) |
| GETINPUT.FOR | 漢字入出力プログラム例 (FORTRAN) |
| GETINPUT.MAR | 漢字入出力プログラム例 (MACRO) |
| GETINPUT.PAS | 漢字入出力プログラム例 (PASCAL) |
| GETINPUT.PLI | 漢字入出力プログラム例 (PL/I) |
| IM$CIS_REGISTER_LOCAL.COM | 変換情報サーバ (CIserver) インストレーション用のコマンド・プロシージャ |
| IM$KEY_COMMON_BODY.DAT | IMLIB 用共通キー定義 (テキスト) |
| IM$KEY_COMMON_BODY_LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用キーバインド・ファイルのソース |
| IM$KEY_EVEJ.DAT | IMLIB 用 EVEJ キー定義マクロ (テキスト) |

| | |
|---|---|
| IM$KEY_EVEJ_LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用 EVEJ キーバインドのマクロファイル |
| IM$KEY_JVMS.DAT | IMLIB 用 JVMS キー定義マクロ (テキスト) |
| IM$KEY_JVMS_LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用 JVMS キーバインドのマクロファイル |
| IM$KEY_LEIA.DAT | IMLIB 用 LEIA キー定義マクロ (テキスト) |
| IM$KEY_LEIA_LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用 LEIA キーバインドのマクロファイル |
| IM$KEY_TARO_BODY.DAT | IMLIB 用 TARO キー定義 (テキスト) |
| IM$KEY_TARO_BODY_ LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用 TARO キーバインド・ファイルのソース |
| IM$KEY_TARO.DAT | IMLIB 用 TARO キー定義マクロ (テキスト) |
| IM$KEY_TARO_LEVEL2.DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換をサポート用 TARO キーバインドのマクロファイル |
| IM$ROMKANA_DB.TEMPLATE | HM のローマ字かな変換テーブル・テンプレート |
| TANGOFOR.FOR | かな漢字変換ルーチン使用例 (FORTRAN) |
| TANGOPAS.PAS | かな漢字変換ルーチン使用例 (PASCAL) |
| TRANCE.EXE | 漢字コード変換プログラム |
| TRANCE.TXT | 漢字コード変換プログラム使用方法のメモ |

## D.3 JSY$HELP

| | |
|---|---|
| JDICEDIT.HLB | JDICEDIT ヘルプ |
| JEDHELP.HLB | JEDIT ヘルプ |
| JMAILHELP.HLB | JMAIL ヘルプ |
| JSYHELP.HLB | 日本語システム・ヘルプ |
| LEIAHELP.HLB | LEIA ヘルプ |

## D.4 JSY$LIBRARY

| | |
|---|---|
| JEDIINI.EDT | JEDIT 初期設定コマンド ( JEDI モード ) |
| JEDSYS.EDT | JEDIT 初期設定コマンド ( JEDI， LEIA 共通 ) |

| | |
|---|---|
| JLBDEF.PAS | PASCAL 用日本語処理ライブラリ定義 |
| JLBDEF.PEN | PASCAL 用日本語処理ライブラリ定義 |
| JSYDEF.FOR | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( FORTRAN ) |
| JSYDEF.H | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( C ) |
| JSYDEF.L32 | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( BLISS-32 ) |
| JSYDEF.MAR | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( MACRO ) |
| JSYDEF.PAS | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( PASCAL ) |
| JSYDEF.PLI | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( PL/I ) |
| JSYDEF.R32 | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( BLISS-32 ) |
| JSYLIB.OLB | 日本語処理ルーチン・オブジェクト・ライブラリ |
| JSYSHR.OPT | JSYSHR LINK 用オプション・パラメータ |
| LEIAINI.EDT | JEDIT 初期設定コマンド ( LEIA モード ) |

## D.5 JSY$SYSTEM

| | |
|---|---|
| CONVKOJIN83.COM | 個人辞書を DEC 漢字 1983 年版に変換するプロシージャ |
| DEV_ATTR.EXE | 漢字端末設定用 ( KANJITERM.COM が使用する ) |
| FONTHANDL.EXE | フォント・ハンドラ |
| JDICEDIT.EXE | JDICEDIT 辞書編集ユーティリティ |
| JEDI.EXE | JEDIT 日本語エディタ |
| JMAIL.EXE | JMAIL 日本語メール・ユーティリティ |
| JMAIL_OLD.EXE | JMAIL 日本語メール・ユーティリティ (obsolete) |
| JMAILEDIT.COM | JMAIL EDIT コマンド・プロシージャ |
| JSY$CHARACTER_INDEX.DAT | CMGR 文字データ用インデックス・ファイル |
| JSY$CHARACTER_MASTER_INDEX.DAT | CMGR 文字データ用マスタ・インデックス・ファイル |
| JSY$DECKANJI_CODE_INFO.DAT | CMGR 用 DEC 漢字文字セット情報ファイル |
| JSY$GLYPH_24X24_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース ( 24 ドット , JIS 第 2 水準文字 ) |

| | |
|---|---|
| JSY$GLYPH_24X24_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（24 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GLYPH_32X32_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース（32 ドット，JIS 第 2 水準文字） |
| JSY$GLYPH_32X32_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（32 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GLYPH_40X40_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース（40 ドット，JIS 第 2 水準文字） |
| JSY$GLYPH_40X40_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（40 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GOTHIC_24X24_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース（24 ドット，JIS 第 2 水準文字） |
| JSY$GOTHIC_24X24_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（24 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GOTHIC_32X32_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース（32 ドット，JIS 第 2 水準文字） |
| JSY$GOTHIC_32X32_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（32 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GOTHIC_40X40_JIS2.GDB | CMGR 用フォント・データベース（40 ドット，JIS 第 2 水準文字） |
| JSY$GOTHIC_40X40_USER.GDB | CMGR 用フォント・データベース（40 ドット，ユーザ定義文字） |
| JSY$GOTHIC_CHARACTER_INDEX.DAT | CMGR 文字データ用インデックス・ファイル |
| JSY$JAPAN_SPECIFIC.DAT | CMGR 用国別情報ファイル |
| JSY$RESETPARAMS.COM | システム・パラメータのリセット・コマンド・プロシージャ |
| JSY$SETPARAMS.COM | システム・パラメータの設定コマンド・プロシージャ |
| JSY$SWITCH.COM | メッセージ/ヘルプ切り替えコマンド・プロシージャ |
| KANJIGEN.EXE | KANJIGEN ユーティリティ |
| KANJITERM.COM | 漢字端末設定用コマンド・プロシージャ |
| KANJIUP.COM | 漢字端末設定コマンド・プロシージャ（ユーザ作成） |
| KCODE.EXE | KCODE 漢字コード変換ユーティリティ |
| KCONV.EXE | KCONVERT DEC 漢字コード変換ユーティリティ |

| | |
|---|---|
| KCV78TO83.TABLE | KCONVERT 用漢字コード変換指定テーブル (DEC1978 → DEC1983) |
| KCV83TO78.TABLE | KCONVERT 用漢字コード変換指定テーブル (DEC1983 → DEC1978) |
| KEISEN.PRE | DEC 罫線のプリロード・ファイル |
| KINQ.EXE | KINQUIRE 日本語 INQUIRE |

## D.6 JSY$TEST

| | |
|---|---|
| F_xxxx.DAT | 日本語 Compaq OpenVMS の各ユーティリティの IVP に使う入力データ |
| IVP_xxxx.COM | 日本語 Compaq OpenVMS の各ユーティリティの IVP コマンド・プロシージャ |
| IVP_TESTS.DAT | IVP 用データ・ファイル |
| JCO$IVP.COM | JCOBOL の IVP コマンド・プロシージャ |
| JCO$IVP.EXE | JCOBOL の IVP に使うイメージ・ファイル |
| JSY$IVP_CMGR24.PRE | CMGR の IVP 用データ・ファイル |
| JSY$IVP_CMGR40.PRE | CMGR の IVP 用データ・ファイル |
| JSY$IVP_JDICEDIT.JISHO | JDICEDIT の IVP に使う辞書ファイル |
| NCO$IVP.COM | NCOBOL の IVP コマンド・プロシージャ |
| NCO$IVP.EXE | NCOBOL の IVP に使うイメージ・ファイル |
| SOR$IVP.DAT | SORT/MERGE の IVP に使う比較用データ |
| SOR$IVPIN.DAT | SORT/MERGE の IVP に使う入力データ |

## D.7 SYS$COMMON:[SYS$KEYMAP.DECW.SYSTEM]

| | |
|---|---|
| JAPANESE_LKxxxxJ.DECW$KEYMAP | 日本語 Compaq DECwindows Motif 用のキーマップ・ファイル |

## D.8 SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]

| | |
|---|---|
| JDECW_xxxxx.DECW$FONT | 日本語 Compaq DECwindows Motif 用のフォント・ファイル (75DPI) |

## D.9 SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]

| | |
|---|---|
| JDECW_xxxxx.DECW$FONT | 日本語 Compaq DECwindows Motif 用のフォント・ファイル (100DPI) |

## D.10 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]

| | |
|---|---|
| DECW$FONT_ALIAS_KANJI.DAT | 日本語ウィンドウ用フォント別名ファイル |

## D.11 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.XTPU]

| | |
|---|---|
| CALLABLE_EXAMPLE.C | コール可能な XTPU の例 (C) |
| EVE$xxxx.TPU | 日本語 EVE のソース・コード |
| JEVE$EVEJ-TARO.EVE | 日本語 EVE V3 を TARO キー定義で使い，数字キーパッドを EVEJ と同じ定義にするための初期化ファイル |
| JEVE$INIT_V3.EVE | 日本語 EVE V3 用初期化ファイルの例 |
| JEVE$MASTER.FILE | 日本語 EVE のビルド用マスター・ファイル |
| JEVE$SAMPLE_INIT.EVE | 日本語 EVE V3 の初期化ファイルの例 |
| JEVE$VERSION.DAT | 日本語 EVE のソース・コード |
| JEVE$xxxx.TPU | 日本語 EVE のソース・コード |
| JEVE$xxxx.UIL | 日本語 EVE のソース・コード |
| SIMPLE.C | 単純なコール可能 I/F を使った例 (C) |
| SIMPLE.COM | 単純なコール可能 I/F のためのコマンド・プロシージャ |

| | |
|---|---|
| SIMPLE.OPT | XTPU の単純なコール可能 I/F のためのオプション・ファイル |
| XTPU_EXAMPLES.TXT | DEC XTPU の例題ファイルの簡単な説明 |

## D.12 SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]

| | |
|---|---|
| CMGREDIT.HLB | CMGR の EDIT コマンドの日本語ヘルプ |
| CMGRHELP.HLB | CMGR の日本語ヘルプ |
| HELPLIB.HLB | 日本語版ヘルプ |
| IM$IMCPHLP.HLB | IMCP のヘルプ |
| JSY$KANJIGENHELP.HLB | KANJIGEN の日本語ヘルプ |
| MAILHELP.HLB | 日本語版 MAIL ヘルプ |
| PHONEHELP.HLB | 日本語版 PHONE ヘルプ |
| DBG$HELP.HLB | 日本語版 DEBUG ヘルプ |

## D.13 SYS$COMMON:[SYSMAINT.DASC]

| | |
|---|---|
| DASC031.A | DEC Automatic Systems Configuration のキット |

## D.14 SYS$COMMON:[SYSMSG.JA_JP ]

| | |
|---|---|
| CLIUTLMSG.EXE | 日本語版 CLIUTL メッセージ |
| CMGRMSG.EXE | 日本語版 CMGR メッセージ |

## D.15 SYS$HELP

| | |
|---|---|
| CMGREDIT.HLB | CMGR の EDIT コマンドのためのヘルプ |
| CMGRHELP.HLB | CMGR のヘルプ |

| | |
|---|---|
| IM$IMCPHLP.HLB | IMCP のヘルプ |
| JEVE$DWHELP.HLB | 日本語 EVE のヘルプ (DECwindows/Motif) |
| JEVE$HELP_V3.HLB | 日本語 EVE V3 のヘルプ・ファイル |
| JEVE$KEYHELP_V3.HLB | 日本語 EVE V3 のヘルプ・ファイル |
| JSY$073.RELEASE_NOTES | 日本語 OpenVMS V7.3 リリース・ノート |
| JSY$KANJIGENHELP.HLB | KANJIGEN のヘルプ |
| XTPU$HELP.HLB | DEC XTPU のヘルプ・ファイル |

## D.16 SYS$LOADABLE_IMAGES

| | |
|---|---|
| ASDRIVER.EXE | KJDRIVER の補助ドライバ |
| FHDRIVER.EXE | フォントハンドラ用のドライバ |
| FIDRIVER.EXE | FIP 用のドライバ |
| JSY$DZDRIVER.EXE | DZDRIVER の漢字版 |
| JSY$RMS_EXTENSION.EXE | DDIF 日本語サポート用イメージ |
| JSY$YCDRIVER.EXE | YCDRIVER の漢字版 |
| JSY$YEDRIVER.EXE | YEDRIVER の漢字版 |
| JSY$YFDRIVER.EXE | YFDRIVER の漢字版 |
| JSY$YIDRIVER.EXE | YIDRIVER の漢字版 |
| KJDRIVER.EXE | TTDRIVER の漢字版 |

## D.17 SYS$MESSAGE

| | |
|---|---|
| CMGRMSG.EXE | CMGR メッセージ・ファイル |
| FIPMSG.EXE | FIP メッセージ・ファイル |
| IM$MESSAGE.EXE | IMLIB メッセージ・ファイル |
| JMAILMSG.EXE | JMAIL メッセージ・ファイル |
| JTPUMSG.EXE | 日本語 VAXTPU のメッセージ・ファイル |
| XTPUMSG.EXE | DEC XTPU のメッセージ・ファイル |

## D.18 SYS$SHARE

| | |
|---|---|
| CMGRDISPSHR.EXE | CMGR 画面管理用共有可能イメージ |
| CMGRSHR.EXE | CMGR 共有可能イメージ |
| FIPMSG.H | FIP メッセージのヘッダ・ファイル |
| FIPSHR.EXE | FIP 共有可能イメージ |
| HMDEF.H | 変換モジュール API 定義ファイル (C) |
| HMDEF.R32 | 変換モジュール API 定義ファイル (BLISS) |
| IM$ARKSHR.EXE | 自動ローマ字かな変換共有可能イメージ |
| IM$CICSHR.EXE | CIserver 共有可能イメージ |
| IM$CIS_TRANSPORT_DECNET.EXE | CIserver の DECnet 経由のトランスポート |
| IM$CIS_TRANSPORT_LOCAL.EXE | CIserver のローカルでのトランスポート |
| IM$DEF.FOR | IMLIB の FORTRAN 用ヘッダ・ファイル |
| IM$DEF.H | IMLIB の C 用ヘッダ・ファイル |
| IM$DEF.R32 | IMLIB の BLISS 用ヘッダ・ファイル |
| IM$HMCISVECSHR.EXE | CIserver のインターフェイス・モジュール |
| IM$HMJSYVECSHR.EXE | JSY インターフェイス・モジュール |
| IM$HMSHR.EXE | FIP の変換処理モジュールの共有可能イメージ |
| IM$KEY_EVEJ.IM$DAT | IMLIB 用 EVEJ キー定義 (バイナリ) |
| IM$KEY_EVEJ_LEVEL2.IM$DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換を サポート用 EVEJ キーバインド・ファイル |
| IM$KEY_JVMS.IM$DAT | IMLIB 用 JVMS キー定義 (バイナリ) |
| IM$KEY_JVMS_LEVEL2.IM$DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換を サポート用 JVMS キーバインド・ファイル |
| IM$KEY_LEIA.IM$DAT | IMLIB 用 LEIA キー定義 (バイナリ) |
| IM$KEY_LEIA_LEVEL2.IM$DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換を サポート用 LEIA キーバインド・ファイル |
| IM$KEY_TARO.IM$DAT | IMLIB 用 TARO キー定義 (バイナリ) |
| IM$KEY_TARO_LEVEL2.IM$DAT | 日本語キーボード，半角カナ変換を サポート用 TARO キーバインド・ファイル |
| IM$KKCSHR.EXE | かな漢字変換共有インターフェイス・イメージ |
| IM$PROFILE.DAT | IMLIB 用標準 PROFILE |
| IM$PROFILE_EVEJ.DAT | IMLIB 用 EVEJ キー PROFILE |

| | |
|---|---|
| IM$PROFILE_LEIA.DAT | IMLIB 用 LEIA キー PROFILE |
| IM$PROFILE_TARO.DAT | IMLIB 用 TARO キー PROFILE |
| IM$SHR.EXE | 変換キー定義ライブラリ (IMLIB) |
| JCORTL.EXE | VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリ |
| JEDISHR.EXE | JEDI 日本語エディタのコーラブル・イメージ |
| JEDSHR.EXE | JEDI 日本語エディタ |
| JEFRJEDEF.MAR | 日本語 DECnet/FNA RJE 変換テーブルのサンプル・ソース・ファイル |
| JEFRJETRA.TBL | 日本語 DECnet/FNA RJE 変換テーブル |
| JEVE_V3.DAT | 日本語 EVE V3 のリソース・ファイル |
| JEVE$SECTION_V3.XTPU$SECTION | 日本語 EVE V3 のセクション・ファイル |
| JEVE$WIDGETS_MOTIF.UID | 日本語 EVE V3 の DECwindows/Motif 用の UID ファイル |
| JMAILSHR.EXE | JMAIL ランタイム・ライブラリ |
| JMAILSHRP.EXE | JMAIL ランタイム・ライブラリ |
| JSNARJEDEF.MAR | 日本語 DECnet/SNA RJE 変換テーブルのサンプル・ソース・ファイル |
| JSNARJEPRE.MAR | 日本語 DECnet/SNA RJE 変換テーブルのサンプル・ソース・ファイル |
| JSNARJETRA.TBL | 日本語 DECnet/SNA RJE 変換テーブル |
| JSY$SMGDEF.FOR | 日本語 SMG ステータス定義 (FORTRAN) |
| JSY$SMGDEF.H | 日本語 SMG ステータス定義 (C) |
| JSY$SMGDEF.L32 | 日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32) |
| JSY$SMGDEF.MAR | 日本語 SMG ステータス定義 (MACRO) |
| JSY$SMGDEF.PAS | 日本語 SMG ステータス定義 (PASCAL) |
| JSY$SMGDEF.PLI | 日本語 SMG ステータス定義 (PL/I) |
| JSY$SMGDEF.R32 | 日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32) |
| JSY$SMGSHR.EXE | 日本語 SMG 共有可能イメージ |
| JSY$UTIL$SHARE.EXE | 日本語ページ表示共有イメージ |
| JSYDEF.FOR | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( FORTRAN ) |
| JSYDEF.H | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( C ) |
| JSYDEF.L32 | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 ( BLISS-32 ) |

| | |
|---|---|
| JSYDEF.MAR | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義（MACRO） |
| JSYDEF.PAS | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義（PASCAL） |
| JSYDEF.PLI | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義（PL/I） |
| JSYDEF.R32 | かな漢字変換ルーチン・ステータス定義（BLISS-32） |
| JSYSHR.EXE | 日本語処理ランタイム・ライブラリ |
| JSYSHRP.EXE | 日本語処理ランタイム・ライブラリ |
| JTPU$CCTSHR.EXE | 日本語 VAXTPU のキャラクタセル端末用の共有可能イメージ |
| JTPU$DECWSHR.EXE | 日本語 VAXTPU の DECwindows 用の共有可能イメージ |
| JTPUSHR.EXE | 日本語 VAXTPU の共有可能イメージ |
| KEISRJEDEF.MAR | 日本語 DECnet/HNA RJE 変換テーブルのサンプル・ソース・ファイル |
| KEISRJETRA.TBL | 日本語 DECnet/HNA RJE 変換テーブル |
| LEIASHR.EXE | LEIA 日本語ワープロのコーラブル・イメージ |
| NCORTL.EXE | VAX 日本語 COBOL ランタイム・ライブラリ |
| SORTJPNDICT.EXE | SORT/MERGE 日本語辞書ファイル |
| SORTDTYPE.EXE | SORT/MERGE 共有可能イメージ（日本語機能） |
| XTPU$CCTSHR.EXE | DEC XTPU のキャラクタセル端末用の共有イメージ |
| XTPU$CSSHR_JA_JP.EXE | DEC XTPU の日本語コード変換用の共有イメージ |
| XTPU$DEBUG.TPU | DEC XTPU のデバッグ用のコマンド・ファイル |
| XTPU$MOTIFSHR.EXE | DEC XTPU の Motif 用イメージ |
| XTPU.DAT | DEC XTPU の Motif 用リソース・ファイル |
| XTPUSHR.EXE | DEC XTPU の共有イメージ |

## D.19 SYS$STARTUP

| | |
|---|---|
| FIP$STARTUP.COM | FIP のスタートアップ・コマンド |
| IM$CIS_STARTUP.COM | CIserver のスタートアップ・コマンド |
| IM$STARTUP.COM | IMLIB のスタートアップ・コマンド |
| JSY$CONFIG.COM | 日本語システムの論理名を定義するコマンド |
| JSY$DT_STARTUP.COM | 日本語ライブラリの元号を定義するコマンド |
| JSY$DT_STARTUP.TEMPLATE | 日本語ライブラリの元号を定義するテンプレート |
| JSY$STARTUP.COM | 日本語システム・スタートアップ・コマンド |
| JSY$STARTUP.TEMPLATE | 日本語システム・スタートアップ・テンプレート |
| XTPU$STARTUP.COM | DEC XTPU のスタートアップ・コマンド |

## D.20 SYS$SYSTEM

| | |
|---|---|
| CMGR.EXE | CMGR 実行イメージ |
| FIP.EXE | FIP 実行イメージ |
| FIP$SUB.EXE | FIP$SUB 実行イメージ |
| FIP$CONTROL.EXE | FIP プロセス作成イメージ |
| IM$CIS_PROXY_DB.DAT | CIserver の PROXY データベース |
| IM$CISERVER.EXE | CIserver 実行イメージ |
| IM$CONTROL.EXE | IMCP 実行イメージ |
| IM$KEYBIND.EXE | KEYBIND コマンド |
| JEFCODE.EXE | 日本語 DECnet/FNA RJE 変換ユーティリティ |
| JEFKNJDEF.EXE | 日本語 DECnet/FNA RJE ユーザ定義文字ユーティリティ |
| JSNACODE.EXE | 日本語 DECnet/SNA RJE 変換ユーティリティ |
| JSNAKNJDEF.EXE | 日本語 DECnet/SNA RJE ユーザ定義文字ユーティリティ |
| JSY$CONFIG.EXE | 日本語システムの論理名の定義 |
| JSY$LATSYM.EXE | LAT 接続の漢字プリンタ用シンビオント |
| JSY$LOAD_IMAGE.EXE | 日本語システムのイメージ・ローダ |
| JSY$PRTSMB.EXE | ホスト接続の漢字プリンタ用シンビオント |

| | |
|---|---|
| KEISCODE.EXE | 日本語 DECnet/HNA RJE 変換ユーティリティ |
| KEISKNJDEF.EXE | 日本語 DECnet/HNA RJE ユーザ定義文字ユーティリティ |
| SMGBLDTRM.EXE | TERMTABLE のコンパイラ |
| SMGTERMS.TXT | 端末の属性定義ファイル |
| TERMTABLE.EXE | 端末の属性定義イメージ |
| TYPE.EXE | DCL TYPE ユーティリティ |
| XTPU.EXE | DEC XTPU の実行イメージ |

## D.21 SYS$TEST

| | |
|---|---|
| JSY$IVP.COM | 日本語 Compaq OpenVMS の IVP コマンド・プロシージャ |

## D.22 SYS$UPDATE

| | |
|---|---|
| JSY$TAILOR.DAT | 日本語 Compaq OpenVMS のテーラリング・データベース |
| JSY$TAILOR.EXE | 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティ |
| JSY$TAILOR.IDX | 日本語 Compaq OpenVMS のテーラリング・データベース<br>（インデックス・ファイル） |
| JSY$TAILOR_ON.TEMPLATE | 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティのテーラ・オンテンプレート |

# E

# 日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティの出力例

この付録では，テーラ・オフとテーラ・オンの出力例を示します。

## E.1 テーラ・オフの出力例

例

```
$ run sys$update:jsy$tailor.exe

 This is the OpenVMS/Japanese tailoring utility. It lets you customize
 OpenVMS/Japanese for your particular system. You do this by identifying
 classes and subclassesof OpenVMS/Japanese files that you want to add or
 delete.

 JSY$TAILOR has three phases:

 - First, JSY$TAILOR asks if you want to tailor your system by adding
 files ("tailor on") or by deleting files ("tailor off").

 - Second, if you choose the "tailor on" procedure, JSY$TAILOR lists each
 class of OpenVMS/Japanese files and asks if you want to include them on
 the system disk. If you choose the "tailor off" procedure, JSY$TAILOR lists
 each class of OpenVMS/Japanese files and asks if you want to delete them
 from the system disk.

 - Third, JSY$TAILOR carries out your instructions.

 NOTE: To cancel JSY$TAILOR during the first and second phases, press
       CTRL/C, CTRL/Y, or CTRL/Z. If you cancel JSY$TAILOR during the
       third phase, you may end up with a partially tailored disk.

 Do you want to tailor files "ON" or "OFF"? off
```

```
TAILOR-OFF
----------
 You will now be prompted with a list of the classes and subclasses of
 OpenVMS/Japanese files that are optional. The size of each class and
 subclass is included in the list. This will help you decide whether or
 not you want to remove a class or subclass from your system.

 Under some classes there is a set of common files that is required in
 order for any subclasses to work. These files will only be deleted if you
 remove the ENTIRE class. If you choose to keep any subclass, this set of
 fiel is not deleted.

 NOTE: The files associated with selected classes and subclasses will
       be removed from your system.

Total size of the system disk is 2050776 blocks.
Total space used on the system disk is 725094 blocks.
Total space left on the system disk is 1325682 blocks.

CLASS - Japanese specific utilities
          Size of entire class (with subclasses): 8025
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - KCODE utility (126 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - KCONVERT utility (81 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - KINQUIRE utility (9 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDICEDIT utility (216 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JMAIL utility (933 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - J-SORT/MERGE utility (120 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - HELP of Japanese utilities (5916 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JSNA,JEF,KEIS code utilities (624 blocks) [NO]:

CLASS - Kanji utilities
          Size of entire class (with subclasses): 1674
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - Kanji font utilities (735 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - Terminal port drivers (126 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - FIP utility (813 blocks) [NO]:
```

```
CLASS - Programming Support
          Size of entire class (with subclasses): 210
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)?

CLASS - Translated Message/Help utility
          Size of entire class (with subclasses): 8760
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - Installation Verification Procedures
          Size of entire class (with subclasses): 258
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? y

CLASS - Example files
          Size of entire class (with subclasses): 3660
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - Obsolete files
          Size of entire class (with subclasses): 2118
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - JDECwindows font and keymap files
          Size of entire class (with subclasses): 26250
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - JDECwindows keymap files (96 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows font alias example (6 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows 75dpi font files (14037 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows 100dpi font files (12111 blocks) [NO]:

Files have been selected
Do you wish to remove all of the options selected? y
Removing files, please wait...
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_CMGR.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_FIP.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_JCOBOL.DAT;*
```

```
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_JDICEDIT.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_JMAIL.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_JSNA.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_JSORT.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_KANJIGEN.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_KCODE.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_KCONVERT.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_KINQUIRE.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_NCOBOL.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_NECESSARY.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_TMH.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]F_XTPU.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_CMGR.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_FIP.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_JCOBOL.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_JDICEDIT.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_JMAIL.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_JSORT.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_KANJIGEN.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_KCODE.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_KCONVERT.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
```

```
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_KINQUIRE.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_NCOBOL.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_RECOVER.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_SETUP.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_TESTS.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_TMH.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]IVP_XTPU.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]JCO$IVP.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]JCO$IVP.EXE;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST]JSY$IVP.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]JSY$IVP_CMGR24.PRE;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]JSY$IVP_CMGR40.PRE;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]JSY$IVP_JDICEDIT.JISHO;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]NCO$IVP.COM;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]NCO$IVP.EXE;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]SOR$IVP.DAT;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file:
 SYS$SYSROOT:[SYSTEST.JSY]SOR$IVPIN.DAT;*
%AUTOGEN-I-BEGIN, SAVPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYS$SYSTEM:AGEN$FEEDBACK.DAT
 has been created. You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, SAVPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GETDATA phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYS$SYSTEM:PARAMS.DAT has been created.
        You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GETDATA phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of
```

```
 SYS$MANAGER:VMSIMAGES.DAT has been created.
       You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of
 SYS$SYSTEM:SETPARAMS.DAT has been created.
       You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GENPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENFILES phase is beginning.
%SYSGEN-I-EXTENDED, SYS$SYSROOT:[SYSEXE]SWAPFILE.SYS;1 extended

%AUTOGEN-I-REPORT, AUTOGEN has produced some informational messages which
 have been stored in the file SYS$SYSTEM:AGEN$PARAMS.REPORT.  You may
 wish to review the information in that file.

%AUTOGEN-I-END, GENFILES phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, SETPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-END, SETPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, REBOOT phase is beginning.

The system is shutting down to allow the system to boot with the
generated site-specific parameters and installed images.

The system will automatically reboot after the shutdown and the
upgrade will be complete.


 SHUTDOWN -- Perform an Orderly System Shutdown
             on node VAXVMS


%SHUTDOWN-I-BOOTCHECK, performing reboot consistency check...
%SHUTDOWN-I-CHECKOK, basic reboot consistency check completed

%SHUTDOWN-I-OPERATOR, this terminal is now an operator's console
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:35.69  %%%%%%%%%%
Operator _VAXVMS$LTA5008: has been enabled, username SYSTEM

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:35.70  %%%%%%%%%%
Operator status for operator _VAXVMS$LTA5008:
CENTRAL, PRINTER, TAPES, DISKS, DEVICES, CARDS, NETWORK, CLUSTER, LICENSE,
OPER1, OPER2, OPER3, OPER4, OPER5, OPER6, OPER7, OPER8, OPER9, OPER10,
OPER11,
OPER12
```

```
%SHUTDOWN-I-DISLOGINS, interactive logins will now be disabled
%SET-I-INTSET, login interactive limit = 0, current interactive value = 1
%SHUTDOWN-I-SHUTNET, the DECnet network will now be shut down
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:36.02  %%%%%%%%%%
Operator status for operator _VAXVMS$LTA5008:
CENTRAL, PRINTER, TAPES, DISKS, DEVICES, CARDS, NETWORK, CLUSTER, LICENSE,
OPER1, OPER2, OPER3, OPER4, OPER5, OPER6, OPER7, OPER8, OPER9, OPER10,
OPER11,
OPER12

%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down EVENT DISPATCHER
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down MOP
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down ALIAS
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down WANDD
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down DNS SERVER
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down PSI
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down TRANSPORTS
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:40.84  %%%%%%%%%%
Message from user TPCONS on VAXVMS
-- TPCONS: Listen TCP port Closed

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:40.84  %%%%%%%%%%
Message from user TPCONS on VAXVMS
-- TPCONS: Listen TCP port Closed

%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down ROUTING
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down SESSION CONTROL APPLICATION *
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down DTSS
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down DNS CLERK
%NET$SHUTDOWN-I-SHUTENTITY, shutting down DECdns
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:47.14  %%%%%%%%%%
Operator status for operator _VAXVMS$LTA5008:
CENTRAL, PRINTER, TAPES, DISKS, DEVICES, CARDS, CLUSTER, LICENSE, OPER1,
OPER2,
OPER3, OPER4, OPER5, OPER6, OPER7, OPER8, OPER9, OPER10, OPER11, OPER12

%SHUTDOWN-I-STOPQUEUES, the queues on this node will now be stopped
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:47.31  %%%%%%%%%%
Message from user JOB_CONTROL on VAXVMS
%JBC-E-OPENERR, error opening SYS$COMMON:[SYSEXE]QMAN$MASTER.DAT;

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:47.31  %%%%%%%%%%
Message from user JOB_CONTROL on VAXVMS
-RMS-E-FNF, file not found
```

```
%SHUTDOWN-I-SITESHUT, the site-specific shutdown procedure will now be
invoked

SHUTDOWN message on VAXVMS from user SYSTEM at _VAXVMS$LTA5008:   14:16:47
VAXVMS will shut down in 0 minutes; back up SOON.  Please log off node
VAXVMS.
Reboot system with AUTOGENerated parameters

%SHUTDOWN-I-STOPUSER, all user processes will now be stopped
2 terminals have been notified on VAXVMS.
%SHUTDOWN-I-STOPAUDIT, the security auditing subsystem will now be shut down
%SHUTDOWN-I-STOPSECSRV, the security server will now be shut down
%SHUTDOWN-I-REMOVE, all installed images will now be removed
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:48.68  %%%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on VAXVMS
%SECSRV-I-CIASHUTDOWN, breakin detection and evasion processing is shutting
down

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:48.68  %%%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on VAXVMS
%SECSRV-I-PROXYSHUTDOWN, proxy processing is shutting down

%SHUTDOWN-I-DISMOUNT, all volumes will now be dismounted
%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:49.07  %%%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on VAXVMS
%SECSRV-I-SERVERSHUTDOWN, security server shutting down

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:50.13  %%%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on VAXVMS
_VAXVMS$LTA5008:, VAXVMS shutdown was requested by the operator.

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:50.14  %%%%%%%%%%
Logfile was closed by operator _VAXVMS$LTA5008:
Logfile was VAXVMS::SYS$SYSROOT:[SYSMGR]OPERATOR.LOG;1

%%%%%%%%%%  OPCOM  16-MAY-2001 14:16:50.18  %%%%%%%%%%
Operator _VAXVMS$LTA5008: has been disabled, username SYSTEM
```

## E.2 テーラ・オンの出力例

例

```
$ run sys$update:jsy$tailor.exe

 This is the OpenVMS/Japanese tailoring utility. It lets you customize
 OpenVMS/Japanese for your particular system. You do this by identifying
 classes and subclassesof OpenVMS/Japanese files that you want to add or
 delete.

 JSY$TAILOR has three phases:

 - First, JSY$TAILOR asks if you want to tailor your system by adding
 files ("tailor on") or by deleting files ("tailor off").

 - Second, if you choose the "tailor on" procedure, JSY$TAILOR lists each
 class of OpenVMS/Japanese files and asks if you want to include them on
 the system disk. If you choose the "tailor off" procedure, JSY$TAILOR lists
 each class of OpenVMS/Japanese files and asks if you want to delete them
 from the system disk.

 - Third, JSY$TAILOR carries out your instructions.

 NOTE: To cancel JSY$TAILOR during the first and second phases, press
       CTRL/C, CTRL/Y, or CTRL/Z. If you cancel JSY$TAILOR during the
       third phase, you may end up with a partially tailored disk.


 Do you want to tailor files "ON" or "OFF"? on

TAILOR-ON
---------
 You will now be prompted with a list of the classes and subclasses of
 OpenVMS/Japanese files that are optional. The size of each class and
 subclass is included in the list. This will help you decide whether or
 not you want to add a class or subclass to your system.

 Under some classes, there is a set of common files that is required in
 order for any subclasses to work. These files are added when you ask for
 either the entire class or any of its subclasses.

Total size of the system disk is 2050776 blocks.
Total space used on the system disk is 752562 blocks.
Total space left on the system disk is 1298214 blocks.
```

```
CLASS - Japanese specific utilities
          Size of entire class (with subclasses): 8025
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - KCODE utility (126 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - KCONVERT utility (81 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - KINQUIRE utility (9 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDICEDIT utility (216 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JMAIL utility (933 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - J-SORT/MERGE utility (120 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - HELP of Japanese utilities (5916 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JSNA,JEF,KEIS code utilities (624 blocks) [NO]:

CLASS - Kanji utilities
          Size of entire class (with subclasses): 1674
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - Kanji font utilities (735 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - Terminal port drivers (126 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - FIP utility (813 blocks) [NO]:

CLASS - Programming Support
          Size of entire class (with subclasses): 210
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - Include files (30 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - IMLIB key definition macros (180 blocks) [NO]:

CLASS - Translated Message/Help utility
          Size of entire class (with subclasses): 8760
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - Installation Verification Procedures
          Size of entire class (with subclasses): 258
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? y
```

```
CLASS - Example files
          Size of entire class (with subclasses): 3660
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - Obsolete files
          Size of entire class (with subclasses): 2118
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?

CLASS - JDECwindows font and keymap files
          Size of entire class (with subclasses): 26250
          Size of common files required for any subclass: 0
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? y
          Select the subclasses that you wish to use:
             SUBCLASS - JDECwindows keymap files (96 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows font alias example (6 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows 75dpi font files (14037 blocks) [NO]:
             SUBCLASS - JDECwindows 100dpi font files (12111 blocks) [NO]:
Files have been selected
Do you wish to add all of the options selected? y
Creating temporary command file, please wait...
* Enter device containing OpenVMS/Japanese VAX distribution media: dka400:

    Adding files to your system, please wait.

        16-MAY-2001 14:49:59.28

%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST]JSY$IVP.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_CMGR.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_FIP.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_JCOBOL.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_JDICEDIT.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_JMAIL.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_JSNA.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_JSORT.DAT;1
```

```
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_KANJIGEN.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_KCODE.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_KCONVERT.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_KINQUIRE.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_NCOBOL.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_NECESSARY.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_TMH.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]F_XTPU.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_CMGR.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_FIP.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_JCOBOL.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_JDICEDIT.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_JMAIL.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_JSORT.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_KANJIGEN.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_KCODE.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_KCONVERT.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_KINQUIRE.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_NCOBOL.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_RECOVER.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_SETUP.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
```

```
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_TESTS.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_TMH.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]IVP_XTPU.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]JCO$IVP.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]JCO$IVP.EXE;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]JSY$IVP_CMGR24.PRE;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]JSY$IVP_CMGR40.PRE;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]JSY$IVP_JDICEDIT.JISHO;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]NCO$IVP.COM;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]NCO$IVP.EXE;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]SOR$IVP.DAT;1
%BACKUP-S-CREATED, created
 SYS$SYSDEVICE:[VMS$COMMON.SYSTEST.JSY]SOR$IVPIN.DAT;1

 Tailor-ON completed successfully ...

        16-MAY-2001 14:50:11.22

$
```

# 索引


## A

AUTOGEN . . . . . 1–12, 4–4

## C

CD-ROM ドライブ . . . . . 1–5

## D

DEC XTPU . . . . . 1–2

## F

FIP(日本語入力プロセス) . . . . . 1–3

## I

IVP . . . . . 2–5, 2–6, 3–1
　インストレーション検証プロシージャも参照

## J

JSY$IVP.COM . . . . . 3–1
JSY$STARTUP.TEMPLATE . . . . . 4–1
JSYS$TEST:ERROR.DAT . . . . . 3–2
JVMS072
　インストール例 . . . . . A–1

## K

KANJIGEN(漢字端末設定ユーティリティ) . . . . . 1–2

## L

LICENSE LOAD . . . . . 4–2
LICENSE REGISTER . . . . . 1–5
LICENSE コマンド . . . . . 2–6

## O

OpenVMS ライセンス・マネジメント・ファシリティ . . . . . 1–4

## P

PAK . . . . . 2–5, 2–6
PAK の登録およびロード . . . . . 2–6

## S

SYS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM . . . . . 4–1
SYS$TEST:JSY$IVP.COM . . . . . 3–2
SYS$UPDATE:JSY$TAILOR.DAT . . . . 6–6
SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM . . 1–5, 2–6
SYSGEN パラメータ . . . . . 2–5

## T

TTY_CLASSNAME . . . . . 2–5

## V

VMSI18N072
　インストール例 . . . . . B–1
VMSINSTAL . . . . . 1–6, 2–3, 2–11, 3–1
　プロシージャ . . . . . 2–1
VMSINSTAL の初期メッセージ . . . . . 2–2

## X

XPG4 ロケール・データ・ファイル . . . . 1–6
　インストール例 . . . . . B–1

## ア

空きブロック数 . . . . . 1–9
アップグレード後の作業 . . . . . 4–3

## イ

イニシャル・インストール後の作業 . . . . 4–1
イニシャル・キット . . . . . 1–1
インストレーション . . . . . 2–1
　検証 . . . . . 3–1
　後の作業 . . . . . 4–1
　必要な時間 . . . . . 1–8
　必要な特権 . . . . . 1–8
インストレーション・エラー . . . . . 5–1
インストレーション検証プロシージャ . . . 3–1
　出力例 . . . . . C–1

## エ

エラー・リカバリ . . . . . 5–1

## オ

オプショナル・セーブセット . . . . . 1–1, 1–4

## カ

漢字ターミナル
　設定 . . . . . 4–3
漢字プリンタ
　使用 . . . . . 4–2

## ク

グローバル・セクション . . . . . 1–9, 1–12
グローバル・ページ . . . . . 1–9, 1–12

## ケ

検証エラー . . . . . 5–4

## シ

システム設定の変更 . . . . . 1–14
システム・ディスクのバックアップ . . . 1–12
システム・パラメータ . . . . . 1–9

## ス

スタート・アップ . . . . . 4–1

## セ

セーブセット . . . . . 1–1

## テ

ディスク装置 . . . . . 1–5
ディストリビューション・キット . . . . . 1–1
テープ・ドライブ . . . . . 1–5
テーラ・オフ . . . . . 6–1
　出力例 . . . . . E–1
テーラ・オン . . . . . 6–1
　出力例 . . . . . E–9
テーラリング・ユーティリティ . . . 1–3, 6–1
　使用方法 . . . . . 6–1
テンプレート・ファイル
　JSY$STARTUP.TEMPLATE . . . . . 4–1

## ト

ドライブ装置へのロード . . . . . 2–2

## ニ

日本語 Compaq DECwindows サポートセーブセット . . . . . 1–1
日本語 Compaq DECwindows サポート・セーブセット . . . . . 1–4
日本語 Compaq OpenVMS VAX の構成 . . . . . 1–1
日本語インストレーション . . . . . 2–1
日本語システムのヘルプ . . . . . 1–3
日本語スタートアップ・プロシージャ . . . 1–2
日本語ユーティリティ . . . . . 1–3
日本語ライブラリ . . . . . 1–2

## ハ

バックアップ確認メッセージ . . . . . 2–3
ハードウェアの最小構成 . . . . . 1–5

## ヒ

必須セーブセット . . . . . 1–1, 1–2
必要なソフトウェア . . . . . 1–6
必要なディスク容量 . . . . . 1–8
標準版 Compaq OpenVMS VAX . . . . . 1–6

## フ

フォント管理ユーティリティ . . . . . 1–3
プログラミング・サポート . . . . . 1–3

## ホ

翻訳ヘルプ/メッセージ . . . . . 1–4

## メ

メモリ . . . . . 1–5

## ユ

ユーティリティ・セーブセット . . . 1–1, 1–3

## ラ

ライセンスのロード . . . . . 4–2

## ロ

ロケール
設定 . . . . . 4–2

日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム
V7.3　インストレーション・ガイド

---

2001 年 7 月　発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話　(03)5463-6600 (大代表)

---

AA-PQE5H-TE